令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：5節　被覆・根固工　P3-5-8

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）被覆石投入　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
被覆石	～　kg／個	m³	1,000×(1＋W/100)	割増しを含む
潜水士船	D270PS1型 3～5吊	日	1,000×(1＋W/100)/Q	就業8H
雑材料				

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）被覆石投入　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
被覆石	～　kg／個	m³	1,000×(1＋W/100)	割増しを含む
潜水士船	D320PS1型 3～5吊	日	1,000×(1＋W/100)/Q	就業8H
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：5節　被覆・根固工　P3-5-11

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）被覆均し（水中）　１日（　m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			単独潜水方式	2人潜水方式(交互)	
①潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	1	－	就業8H
②潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	－	1	就業8H
雑材料					

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）被覆均し（水中）　１日（　m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			単独潜水方式	2人潜水方式(交互)	
①潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	1	－	就業8H
②潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	－	1	就業8H
雑材料					

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：5節　被覆・根固工　P3-5-12

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）被覆均し（陸上）　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上施工	海上施工	
バックホウ	排出ガス対策型（第２次基準値）ｸﾛｰﾗ型 山積 0.8m³（平積 0.6m³）	日		－	標準運転時間
クレーン付台船　運転	t吊	〃	－		運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－		運2H／就8H
石工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）被覆均し（陸上）　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上施工	海上施工	
バックホウ	排出ガス対策型（第２次基準値）ｸﾛｰﾗ型 0.8m³	日		－	標準運転時間
クレーン付台船　運転	t吊	〃	－		運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－		運2H／就8H
石工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：6節　上部工　P3-6-11

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）支保組立組外(重力式)　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上	海上	
支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価
引船　運転	鋼D　PS型	日	－	2.0	運2H／就8H
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回鋼 D t吊	〃	－	2.0	運6H／就8H

注）台船規格は、鋼100t積、引船規格は、鋼D200PS型を標準とする。なお、バケット打設による場合は、バケット打設の船団組合せによる。

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）支保組立組外(重力式)　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上	海上	
支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価
引船　運転	鋼D　PS型	日	－	2.0	運2H／就8H
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回鋼 D t吊	〃	－	2.0	運6H／就8H

注）クレーン類の種類・規格は、「本節　２－３　クレーン規格の選定」による。

コメント

誤植の修正
用語の統一

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

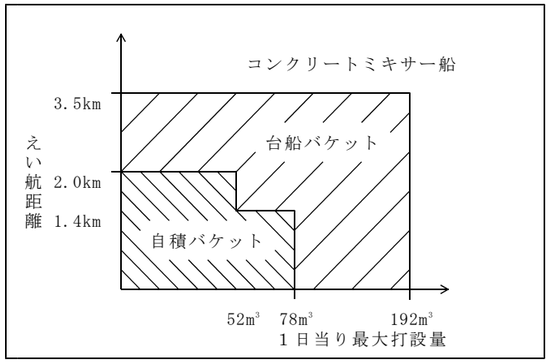
掲　載　頁：6節　上部工 P3-6-25

現行（令和７年度）

２）施工方法の適用
各施工方法の適用範囲は以下を標準とする。

(1) 自積バケット方式
えい航距離が2.0km以下で、１日当りの最大打設量が52m³以下の場合およびえい航距離が1.4km以下で、１日当りの最大打設量が78m³以下の場合に適用する。
(2) 台船バケット方式
えい航距離が3.5km以下で、１日当りの最大打設量が192m³以下の場合において、自積バケット方式が該当しない場合に適用する。
(2) コンクリートミキサー船方式
自積バケット方式および台船バケット方式に該当しない場合に適用する。

［施工方法選定図（参考）］

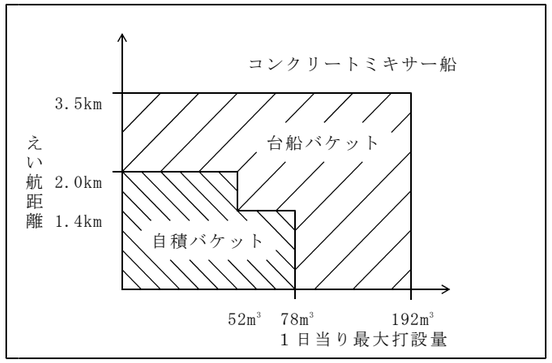


注）1.１日当り最大打設量とは、打設計画より定まる一工事内での最大打設量である。
2.現場条件により、上記により難い場合は、別途施工方法を選定できる。

改定（令和８年度）

２）施工方法の選定
海上コンクリート打設方法は、従前の施工実態や施工機械の調達等各施工現場での地域性や作業環境を考慮して選定することとする。従前の施工実態や作業環境が把握できない場合は、以下の施工方法(1)～(3)を参考とする。
なお、本基準に記載のない打設方法を選定する場合については、別途見積もり等により積算するものとする。
(1) 自積バケット方式
えい航距離が2.0km以下で、１日当りの最大打設量が52m³以下の場合およびえい航距離が1.4km以下で、１日当りの最大打設量が78m³以下の場合に適用する。
(2) 台船バケット方式
えい航距離が3.5km以下で、１日当りの最大打設量が192m³以下の場合において、自積バケット方式が該当しない場合に適用する。
(3) コンクリートミキサー船方式
自積バケット方式および台船バケット方式に該当しない場合に適用する。

［施工方式選定図（参考）］



注）１日当り最大打設量とは、打設計画より定まる一工事内での最大打設量である。

コメント

記載の変更

掲　載　頁：6節　上部工 P3-6-26

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) コンクリート打設　10m³当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ポンプ車 鉄筋	数量 ポンプ車 無筋	数量 陸上クレーン 鉄筋	数量 陸上クレーン 無筋	数量 ミキサー車 鉄筋	数量 ミキサー車 無筋	摘　要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10		－		－		市場単価
	ｸﾚｰﾝ抜き	〃	－		10		－		〃
	ミキサー車	〃	－		－		10		〃
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	－		0.2		－		標準運転時間

注）1.クレーンの機種・規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。

改定（令和８年度）

２）代価表
(1) コンクリート打設　10m³当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ポンプ車 鉄筋	数量 ポンプ車 無筋	数量 陸上クレーン 鉄筋	数量 陸上クレーン 無筋	数量 ミキサー車 鉄筋	数量 ミキサー車 無筋	摘　要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10		－		－		市場単価
	ｸﾚｰﾝ抜き	〃	－		10		－		〃
	ミキサー車	〃	－		－		10		〃
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	－		0.2		－		標準運転時間

注）1.クレーンの種類・規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。

コメント

用語の統一

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：6節　上部工　P3-6-27

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）コンクリート運搬　100m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回翼D　t吊	日	104/Q	運：4H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	104/Q	運：作業能力／就8H
ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾞｹｯﾄ	5.0m³	〃	104/Q×6	
雑材料				

注）1.起重機船の船種･規格および引船規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.Q:１日当り運搬量（扱い数量、m³/日）
3.数量は、小数3位四捨五入とする。

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）コンクリート運搬　100m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回翼D　t吊	日	104/Q	運：4H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	104/Q	運：作業能力／就8H
ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾞｹｯﾄ	5.0m³	〃	104/Q×6	
雑材料				

注）1.クレーン類の種類･規格および引船規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.Q:１日当り運搬量（扱い数量、m³/日）
3.数量は、小数3位四捨五入とする。

コメント

用語の統一

掲載頁：6節　上部工　P3-6-29

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）コンクリート運搬　100m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回翼D　t吊	日	104/Q	運：作業能力／就8H
台船　〃	鋼　t積	〃	104/Q×N	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	104/Q×N	運：作業能力／就8H
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	〃	(52/Q)	標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾞｹｯﾄ	m³	〃	104/Q×N	
雑材料				

注）1.起重機船の船種･規格および引船規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.Q:１日当り運搬量（扱い数量、m³/日）
3.N:１日当り必要隻数または必要数量（隻/日または個/日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.積出場所において、コンクリートバケットを台船に積込む必要がある場合は、陸上クレーンを計上する。なお、クレーンの機種・規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）コンクリート運搬　100m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回翼D　t吊	日	104/Q	運：作業能力／就8H
台船　〃	鋼　t積	〃	104/Q×N	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	104/Q×N	運：作業能力／就8H
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	〃	(52/Q)	標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾞｹｯﾄ	m³	〃	104/Q×N	
雑材料				

注）1.クレーン類の種類･規格および引船規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。
2.Q:１日当り運搬量（扱い数量、m³/日）
3.N:１日当り必要隻数または必要数量（隻/日または個/日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.積出場所において、コンクリートバケットを台船に積込む必要がある場合は、陸上クレーンを計上する。なお、クレーンの種類・規格は、**「本節　２－３　クレーン規格の選定」**による。

コメント

用語の統一

掲載頁：6節　上部工　P3-6-32

現行（令和７年度）

２）コンクリートミキサー船拘束費
（1）工程待ちによる拘束
施工施設の種類に拘わらず、当該工事における延べ混合日数（N）に対して、現場における稼働実態を考慮して、コンクリートミキサー船の工程待ちによる拘束日数として下式により算出した日数を 0.5日単位で計上する。

D　＝ N ×K　　（小数１位を二捨三入または七捨八入）
D：工程待ち拘束日数(日)
N：延べ混合日数(日)　　（延べ混合日数は20日を上限とする）
N　＝ ΣQ／Q_E　　（小数１位切上げ）
ΣQ：総混合量(m³)
Q_E：１日当り平均混合量(割増し含む)(m³／日)（小数１位四捨五入）
K：拘束発生率（0.30）

改定（令和８年度）

２）コンクリートミキサー船拘束費
（1）コンクリートミキサー船拘束
工事の施工に際し、コンクリートミキサー船の拘束が発生する場合は、拘束費を計上する。拘束費の計上は、**「第２章　工事費の積算　２－７拘束費」**により計上する。

コメント

記載の変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：6節　上部工 P3-6-33

現行（令和７年度）

(3) 材料接岸積込　1,000m³(コンクリート数量)当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クラムシェル	平積 1.0m³	日	D	標準運転時間
ホイールローダ	3.1～3.3m³	〃	D	〃
普通作業員		人	D	
ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ船　供用	ﾊﾞｯﾁ式　m³ または ｺﾝﾃｨﾆｱｽ式　型	日	D	
雑材料				

注）D:コンクリート1,000m³当り骨材積込作業日数(日)

改定（令和８年度）

(3) 材料接岸積込　1,000m³(コンクリート数量)当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クラムシェル	平積 1.0m³	日	D	標準運転時間
ホイールローダ	3.2～3.4m³	〃	D	〃
普通作業員		人	D	
ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ船　供用	ﾊﾞｯﾁ式　m³ または ｺﾝﾃｨﾆｱｽ式　型	日	D	
雑材料				

注）D:コンクリート1,000m³当り骨材積込作業日数(日)

コメント

規格の見直し

掲載頁：6節 上部工 参考資料－1 コンクリートミキサー船による大規模施工歩掛 P3-6-(1)

現行（令和７年度）

４）拘束費
(1)工程待ちによる拘束
「本節　２－１２－５－４　施工歩掛、２）、(1)工程待ちによる拘束」の混合日数を混合回数に読み替えて適用する。

改定（令和８年度）

４）拘束費
(1)コンクリートミキサー船拘束
「本節　２－１２－５－４　施工歩掛、２）、(1)コンクリートミキサー船拘束」を適用する。

コメント

記載の変更

掲載頁：7節　付属工 P3-7-16

現行（令和７年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			既設構造物等を基地として作業できる場合	既設構造物等を基地として作業できない場合	
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付ﾌﾟﾚｰﾄを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船　運転	D270PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
ｸﾚｰﾝ付台船　運転	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船　〃	鋼D300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	D300A	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

改定（令和８年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			既設構造物等を基地として作業できる場合	既設構造物等を基地として作業できない場合	
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付ﾌﾟﾚｰﾄを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船　運転	D320PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
ｸﾚｰﾝ付台船　運転	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船　〃	鋼D300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	D300A	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁 / 現行（令和７年度）

6節 消波工
P3-8-2

消波ブロック製作内訳

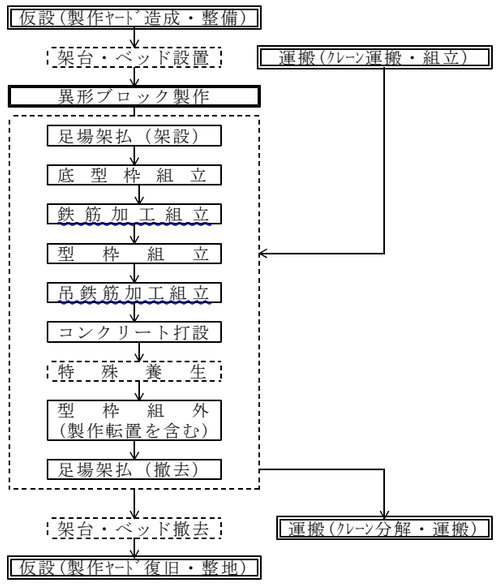
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容		単位	数位	摘要
消波ブロック工	消波ブロック製作 (10個当り)	コンクリート	コンクリート量	m^3	小数３位 四捨五入	
		型枠	型枠面積	m^2		
		鉄筋加工組立	丸鋼質量	kg		
			異形棒鋼質量	〃		
		吊鉄筋加工組立	丸鋼質量	〃		

１－５－２　材料割増率

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容		割増率(%)	摘要
消波ブロック工	消波ブロック製作	コンクリート	コンクリート	1	
		鉄筋加工組立	丸鋼	3	
			異形棒鋼	2	
		吊鉄筋加工組立	丸鋼	3	

8節 消波工
P3-8-3

２－１－２　施工フロー



改定（令和８年度）

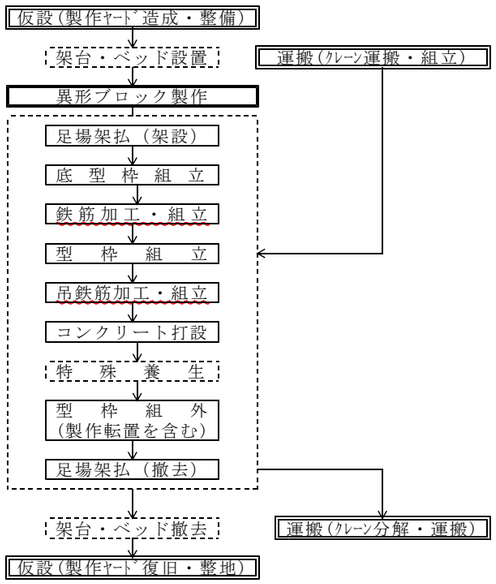
消波ブロック製作内訳

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容		単位	数位	摘要
消波ブロック工	消波ブロック製作 (10個当り)	コンクリート	コンクリート量	m^3	小数３位 四捨五入	
		型枠	型枠面積	m^2		
		鉄筋加工・組立	丸鋼質量	kg		
			異形棒鋼質量	〃		
		吊鉄筋加工・組立	丸鋼質量	〃		

１－５－２　材料割増率

種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容		割増率(%)	摘要
消波ブロック工	消波ブロック製作	コンクリート	コンクリート	1	
		鉄筋加工・組立	丸鋼	3	
			異形棒鋼	3	
		吊鉄筋加工・組立	丸鋼	3	

２－１－２　施工フロー



コメント

市場単価「土木工事（一般構造物）」削除に伴う変更

市場単価「土木工事（一般構造物）」削除に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：8節 消波工 P3-8-4

現行（令和７年度）

（鉄筋及び吊鉄筋が必要な場合）

・鉄筋径
・施工場所

→ 市場単価適用の検討 →⑧鉄筋市場単価
⑨吊鉄筋市場単価
・市場単価適用条件以外は別途積算

↓

⑥10個当り型枠歩掛
⑦10個当りｺﾝｸﾘｰﾄ打設歩掛
⑧鉄筋の有無
⑨吊鉄筋の有無
→ 製作歩掛の計算 →⑩10個当り製作歩掛

↓

⑩10個当り製作歩掛
⑧鉄筋市場単価
⑨吊鉄筋市場単価
④型枠工市場単価
⑤ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工市場単価
②製作ｸﾚｰﾝ機種・規格
③製作転置ｸﾚｰﾝ機種・規格
→ 代価表の作成 →・異形ブロック製作
10個当り代価表

改定（令和８年度）

（鉄筋及び吊鉄筋が必要な場合）

⑥10個当り型枠歩掛
⑦10個当りｺﾝｸﾘｰﾄ打設歩掛
⑧鉄筋の有無
⑨吊鉄筋の有無
→ 製作歩掛の計算 →⑩10個当り製作歩掛

↓

⑩10個当り製作歩掛
⑧鉄筋加工・組立歩掛
⑨吊鉄筋加工・組立歩掛
④型枠工市場単価
⑤ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工市場単価
②製作ｸﾚｰﾝ機種・規格
③製作転置ｸﾚｰﾝ機種・規格
→ 代価表の作成 →・異形ブロック製作
10個当り代価表

コメント

市場単価「土木工事（一般構造物）」削除に伴う変更

8節 消波工 P3-8-5

現行（令和７年度）

４）鉄筋および吊鉄筋加工組立
市場単価「土木工事・鉄筋工（一般構造物）」を適用する。
なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。
市場単価の算定については、**「第４章　市場単価等」**による。

改定（令和８年度）

４）鉄筋および吊鉄筋加工・組立
「土木工事標準積算基準書　第Ⅱ編　第５章　⑥鉄筋工」の一般構造物を適用する。
なお、鉄筋加工・組立については単位をｔからｋｇへ変換して採用していることから、小数３位切捨てとする。

コメント

市場単価「土木工事（一般構造物）」削除に伴う変更

8節 消波工 P3-8-6

現行（令和７年度）

６）代価表
（1）異形ブロック製作　10個当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m^3	V×(1+W/100)×10	割増しを含む
型枠賃料		m^2	A×10	
鉄筋		kg	R_i×(1+W/100)×10	割増しを含む
吊鉄筋		kg	R_i×(1+W/100)×10	割増しを含む
鉄筋加工組立	一般構造物	kg	ΣR_i×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)
吊鉄筋加工組立	一般構造物	kg	ΣR_j×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)
型枠工		m^2	A×10	市場単価
コンクリート打設工		m^3	V×10	市場単価
給熱養生加算額		m^3	V×10	市場単価
ラフテレーンクレーン（型枠工用）	排出ｶﾞｽ対策型（油）t吊	日	A×10×a/100	標準運転時間
ラフテレーンクレーン（ｺﾝｸﾘｰﾄ工用、製作転置用）	排出ｶﾞｽ対策型（油）t吊	日	A×10×a/100＋V×10×b/100	標準運転時間
クローラクレーン（ｺﾝｸﾘｰﾄ工用、製作転置用）	（油）t吊	日	A×10×a/100＋V×10×b/100	標準運転時間

改定（令和８年度）

６）代価表
（1）異形ブロック製作　10個当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m^3	V×(1+W/100)×10	割増しを含む
型枠賃料		m^2	A×10	
鉄筋加工	一般構造物	kg	R_i×10	鉄筋の材料割増含む
鉄筋組立	一般構造物	kg	R_i×10	
吊鉄筋加工	一般構造物	kg	R_j×10	吊鉄筋の材料割増含む
吊鉄筋組立	一般構造物	kg	R_j×10	
型枠工		m^2	A×10	市場単価
コンクリート打設工		m^3	V×10	市場単価
給熱養生加算額		m^3	V×10	市場単価
ラフテレーンクレーン（型枠工用）	排出ｶﾞｽ対策型（油）t吊	日	A×10×a/100	標準運転時間
ラフテレーンクレーン（ｺﾝｸﾘｰﾄ工用、製作転置用）	排出ｶﾞｽ対策型（油）t吊	日	A×10×a/100＋V×10×b/100	標準運転時間
クローラクレーン（ｺﾝｸﾘｰﾄ工用、製作転置用）	（油）t吊	日	A×10×a/100＋V×10×b/100	標準運転時間

コメント

市場単価「土木工事（一般構造物）」削除に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント

8節 消波工 P3-8-10

２－２－４　作業船・機械の組合せ
２－２－４－１　陸上作業

現行

ブロック質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	ﾄﾗｯｸまたはﾄﾚｰﾗ
4.5t以下	(油)　25　t吊	－	11t積
4.5t超え7.5t〃	(〃)　35　〃		11　〃
7.5t〃12.5t〃	(〃)　50　〃		25　〃
12.5t〃22.0t〃	(〃)　50　〃		25　〃
22.0t〃31.0t〃	－	(油)　100　t吊	32　〃
31.0t〃37.5t〃		(〃)　150　〃	40　〃
37.5t〃50.0t〃			50　〃
50.0t〃70.0t〃		(〃)　200　〃	60または70〃
70.0t〃100.0t〃			現場条件による

改定

ブロック質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	ﾄﾗｯｸまたはﾄﾚｰﾗ
4.5t以下	(油)　25　t吊	－	11t積級
4.5t超え7.5t〃	(〃)　35　〃		11　〃
7.5t〃12.5t〃	(〃)　50　〃		25　〃
12.5t〃22.0t〃	(〃)　50　〃		25　〃
22.0t〃31.0t〃	－	(油)　100　t吊	32　〃
31.0t〃37.5t〃		(〃)　150　〃	40　〃
37.5t〃50.0t〃			50　〃
50.0t〃70.0t〃		(〃)　200　〃	60または70〃
70.0t〃100.0t〃			現場条件による

コメント：機械器具等損料改定に伴う変更

8節 消波工 P3-8-12

３）代価表
(1) ブロック転置　１日（　　個）当り

現行

名　称	形　状　寸　法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　要
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油)　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引　船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

改定

名　称	形　状　寸　法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　要
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油)　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引　船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

コメント：潜水士船の大型化による基準改定

8節 消波工 P3-8-13

３）代価表
(1) ブロック据付（１スイング）　１日（　　個）当り

現行

名　称	形　状　寸　法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　要
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油)　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引　船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

改定

名　称	形　状　寸　法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　要
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油)　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引　船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

コメント：潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：8節　消波工　P3-8-16

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	〃	1	積込用 標準運転時間
トレーラ または トラック	t積	〃		標準運転時間
潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(陸上連携方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	1	据付・仮置用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	〃	1	積込用 標準運転時間
トレーラ または トラック	t積級	〃		標準運転時間
潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

潜水士船の大型化による基準改定

8節　消波工　P3-8-19

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	日	1	運:作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(海上一連方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	日	1	運:作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

8節　消波工　P3-8-22

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	1	標準運転時間
トラック または トレーラ	t積	〃		〃
クレーン付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	〃	1	運:作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D270PS型　3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式)　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油)　t吊	日	1	標準運転時間
トラック または トレーラ	t積級	〃		〃
クレーン付台船 または　運転 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	〃	1	運:作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D320PS型　3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-10

現行（令和７年度）

３）作業船組合せ

施工区分	作業内容	名称	規格	摘要
直接投入	投入指示	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	
積込・運搬	積込	クローラローダ	1.8～1.9m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	運搬	ダンプトラック	10ｔ積級	
海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	ｸﾞﾗﾌﾞ容量 1.8m³ ｸﾞﾗﾌﾞ容量 3.0m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	投入指示	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	

改定（令和８年度）

３）作業船組合せ

施工区分	作業内容	名称	規格	摘要
直接投入	投入指示	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	
積込・運搬	積込	クローラローダ	1.8～1.9m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	運搬	ダンプトラック	10ｔ積級	
海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	ｸﾞﾗﾌﾞ容量 1.8m³ ｸﾞﾗﾌﾞ容量 3.0m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	投入指示	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-13

現行（令和７年度）

２）代価表

（1）裏込材投入（直接投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				

（2）直接投入以外の場合

②裏込材投入（海上運搬投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
ガット船　〃	ｸﾞﾗﾌﾞ容量　m³	〃	1,000×(1+W/100)/G	運8H／就10H
ブルドーザ	排出ｶﾞｽ対策型 15ｔ級	〃	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間
雑材料				

改定（令和８年度）

２）代価表

（1）裏込材投入（直接投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				

（2）直接投入以外の場合

②裏込材投入（海上運搬投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
ガット船　〃	ｸﾞﾗﾌﾞ容量　m³	〃	1,000×(1+W/100)/G	運8H／就10H
ブルドーザ	排出ｶﾞｽ対策型 15ｔ級	〃	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-15

現行（令和７年度）

２）代価表

（1）裏込均し（Ⅰ，Ⅱ）（陸上）　100 m²当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上施工	海上施工	
バックホウ	排出ガス対策型 （第２次基準値） ｸﾛｰﾗ型 山積 0.8m³ （平積 0.6m³）	日		－	標準運転時間
クレーン付台船　運転	ｔ吊	〃	－		運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－		運2H／就8H
普通作業員		人			
雑材料					

改定（令和８年度）

２）代価表

（1）裏込均し（Ⅰ，Ⅱ）（陸上）　100 m²当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			陸上施工	海上施工	
バックホウ	排出ガス対策型 （第２次基準値） ｸﾛｰﾗ型 0.8m³	日		－	標準運転時間
クレーン付台船　運転	ｔ吊	〃	－		運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－		運2H／就8H
普通作業員		人			
雑材料					

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-16

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）裏込均し（Ⅱ）（水中）　１日（　　m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			単独潜水方式	2人潜水方式(交互)	
①潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	1	－	就業8H
②潜水士船　運転	D270PS型 3～5t吊	日	－	1	就業8H
雑材料					

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）裏込均し（Ⅱ）（水中）　１日（　　m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			単独潜水方式	2人潜水方式(交互)	
①潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	1	－	就業8H
②潜水士船　運転	D320PS型 3～5t吊	日	－	1	就業8H
雑材料					

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-17

現行（令和７年度）

２－６－２　施工方式
防砂シートは、原則として潜水士船で敷設する。ただし、敷設する防砂シートの質量等および現場条件（施工場所）により、クレーン類を計上することができる。

施工区分	クレーン類を必要としない場合		クレーン類を必要とする場合	
	名称	規格	名称	規格
陸上施工	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊
			ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	（油）　ｔ吊
海上施工	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊
	台船	鋼 100ｔ積	クレーン付台船	35～40ｔ吊
	引船	鋼D200PS型	引船	鋼D300PS型

改定（令和８年度）

２－６－２　施工方式
防砂シートは、原則として潜水士船で敷設する。ただし、敷設する防砂シートの質量等および現場条件（施工場所）により、クレーン類を計上することができる。

施工区分	クレーン類を必要としない場合		クレーン類を必要とする場合	
	名称	規格	名称	規格
陸上施工	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊
			ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	（油）　ｔ吊
海上施工	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊
	台船	鋼 100ｔ積	クレーン付台船	35～40ｔ吊
	引船	鋼D200PS型	引船	鋼D300PS型

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-23

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）瀬取り投入(自積方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運4H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。

（2）瀬取り投入(台船方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運6H／就8H
台船　〃	鋼　500t積	日	1,000×(1+W/100)/D×2	就業8H
引船　〃	鋼D450PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.引船はクレーン付台船と同じ日数を計上し、台船はその２倍を計上する。
ただし、材料運搬距離の条件等で別途引船および台船の数量を決定する場合は、
この限りでない。

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）瀬取り投入(自積方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運4H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。

（2）瀬取り投入(台船方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運6H／就8H
台船　〃	鋼　500t積	日	1,000×(1+W/100)/D×2	就業8H
引船　〃	鋼D450PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.引船はクレーン付台船と同じ日数を計上し、台船はその２倍を計上する。
ただし、材料運搬距離の条件等で別途引船および台船の数量を決定する場合は、
この限りでない。

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　P3-9-23

現行（令和７年度）

(3) 瀬取り投入(二時投入方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運6H／就8H
引船 〃	鋼D　PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船 〃	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.引船は、現場条件により計上することができる。

改定（令和８年度）

(3) 瀬取り投入(二時投入方式)　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	
クレーン付台船 運転	t吊	日	1,000×(1+W/100)/D	運6H／就8H
引船 〃	鋼D　PS型	日	1,000×(1+W/100)/D	運2H／就8H
潜水士船 〃	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
雑材料				バケット損料を含む

注）1.W:材料割増率(%)
2.D:クレーン付台船１日当り排出量（扱い数量、m³/日）
3.V:１日当り投入量（扱い数量、m³／日）
4.数量は、小数3位四捨五入とする。
5.引船は、現場条件により計上することができる。

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　参考資料－１　直接投入以外の裏込材投入（陸上投入）　P3-9-(2)

現行（令和７年度）

３）作業船組合せ

施工区分	作業内容	名称	規格	摘要
積込・運搬	積込	クローラローダ	1.8～1.9m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	運搬	ダンプトラック	10ｔ積級	
陸上投入	投入	クラムシェル	1.0m³	
	投入指示	潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊	

改定（令和８年度）

３）作業船組合せ

施工区分	作業内容	名称	規格	摘要
積込・運搬	積込	クローラローダ	1.8～1.9m³	
	集積	ブルドーザ	15ｔ級	
	運搬	ダンプトラック	10ｔ積級	
陸上投入	投入	クラムシェル	1.0m³	
	投入指示	潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊	

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：9節　裏込・裏埋工　参考資料－１　直接投入以外の裏込材投入（陸上投入）　P3-9-(3)

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) 直接投入以外の場合
②裏込材投入（陸上投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船 運転	D270PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
クラムシェル	1.0m³	〃	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間
雑材料				

改定（令和８年度）

２）代価表
(1) 直接投入以外の場合
②裏込材投入（陸上投入）　1,000m³当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
裏込材		m³	1,000×(1+W/100)	割増しを含む
潜水士船 運転	D320PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H
クラムシェル	1.0m³	〃	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：10節 埋立工　P3-10-15

現行（令和７年度）

(2) 受枠設置・撤去
②陸上受枠設置・撤去　30m当り

名称	形状寸法	単位	受枠の高さ（H）			摘要
			0m	2m	4m	
笠木丸太	末口15cm×1.8m	m³	0.4			
杭丸太		〃	－	1.4	1.8	
筋違丸太		〃	－	0.4	0.5	
足場丸太	末口10cm×7.0m	〃	－	0.9		
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)25ｔ吊	日	－	0.6	0.6	標準運転時間
トラック	8ｔ積	〃	0.4	0.4	1.0	〃
型枠工		人	0.1	0.4	0.6	
普通作業員		〃	1.6	5.6	8.4	
雑材料						

改定（令和８年度）

(2) 受枠設置・撤去
②陸上受枠設置・撤去　30m当り

名称	形状寸法	単位	受枠の高さ（H）			摘要
			0m	2m	4m	
笠木丸太	末口15cm×1.8m	m³	0.4			
杭丸太		〃	－	1.4	1.8	
筋違丸太		〃	－	0.4	0.5	
足場丸太	末口10cm×7.0m	〃	－	0.9		
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)25ｔ吊	日	－	0.6	0.6	標準運転時間
トラック	8ｔ積級	〃	0.4	0.4	1.0	〃
型枠工		人	0.1	0.4	0.6	
普通作業員		〃	1.6	5.6	8.4	
雑材料						

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：10節 埋立工 P3-10-15

現行（令和７年度）

(3) 排砂管設置・撤去
①排砂管（海底管）設置・撤去　60m当り

名称	形状寸法	単位	船種・規格区分 〔1〕	船種・規格区分 〔2〕	摘要
揚錨船　運転	鋼D　t吊	日	0.5		就業8H
台船　〃	鋼200t積	〃	0.5		〃
潜水士船　〃	D270PS型　3～5t吊	〃	0.5		〃
引船　〃	鋼D250PS型	〃	0.5		運2H／就8H
引船　〃	鋼D200PS型	〃	0.5		〃
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)25t吊	〃	0.7	0.5	標準運転時間
空気圧縮機	5.0m³/min	〃	0.5		
普通作業員		人	9.4	6.5	
雑材料					

改定（令和８年度）

(3) 排砂管設置・撤去
①排砂管（海底管）設置・撤去　60m当り

名称	形状寸法	単位	船種・規格区分 〔1〕	船種・規格区分 〔2〕	摘要
揚錨船　運転	鋼D　t吊	日	0.5		就業8H
台船　〃	鋼200t積	〃	0.5		〃
潜水士船　〃	D320PS型　3～5t吊	〃	0.5		〃
引船　〃	鋼D250PS型	〃	0.5		運2H／就8H
引船　〃	鋼D200PS型	〃	0.5		〃
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)25t吊	〃	0.7	0.5	標準運転時間
空気圧縮機	5.0m³/min	〃	0.5		
普通作業員		人	9.4	6.5	
雑材料					

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：10節 埋立工 P3-10-16

現行（令和７年度）

③排砂管（陸上受枠上）設置・撤去　60m当り

名称	形状寸法	単位	船種・規格区分 〔1〕	船種・規格区分 〔2〕	摘要
ラフテレーンクレーン	(油)25t吊	日	1.1	1.0	標準運転時間
トラック	8t積	〃	0.4		〃
普通作業員		人	7.6	5.0	
雑材料					

改定（令和８年度）

③排砂管（陸上受枠上）設置・撤去　60m当り

名称	形状寸法	単位	船種・規格区分 〔1〕	船種・規格区分 〔2〕	摘要
ラフテレーンクレーン	(油)25t吊	日	1.1	1.0	標準運転時間
トラック	8t積級	〃	0.4		〃
普通作業員		人	7.6	5.0	
雑材料					

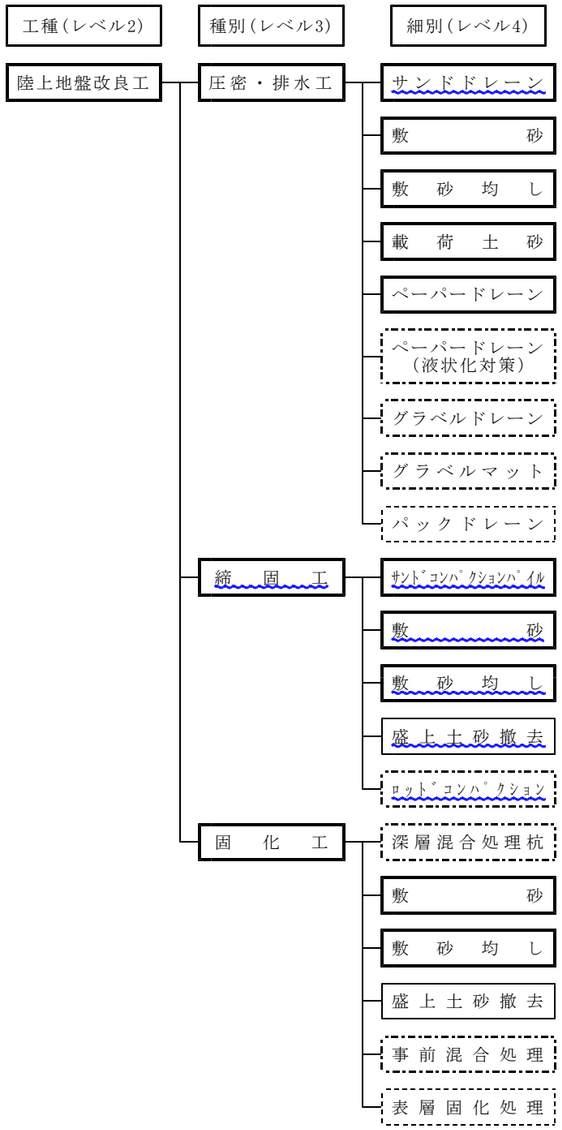
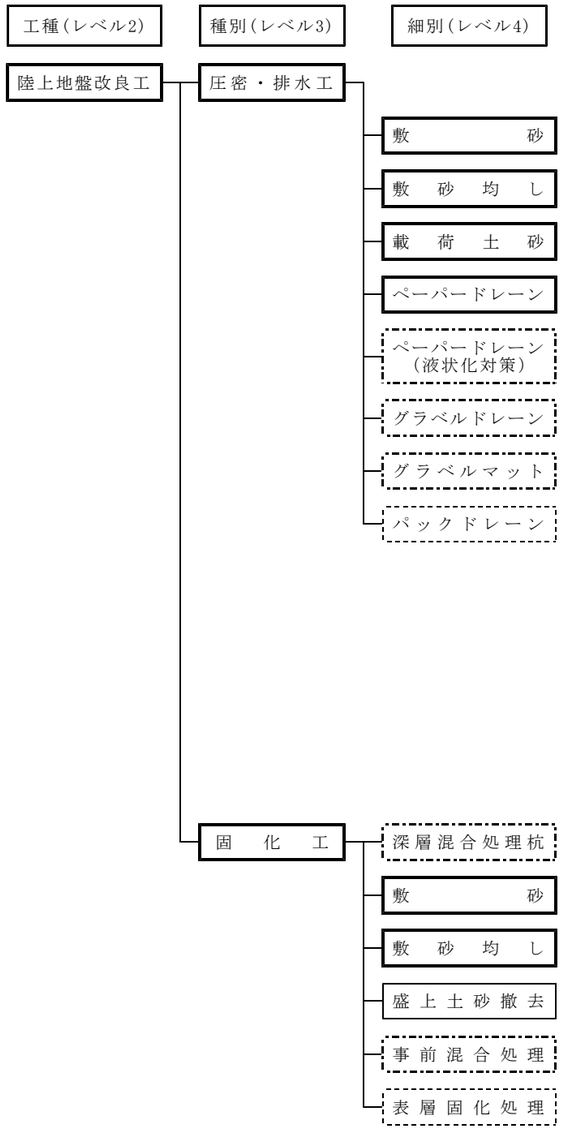
コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

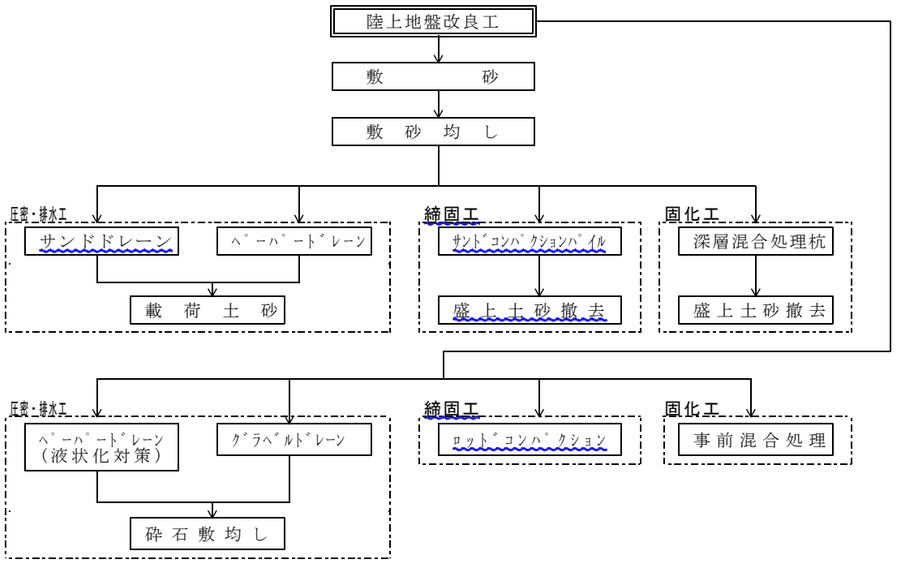
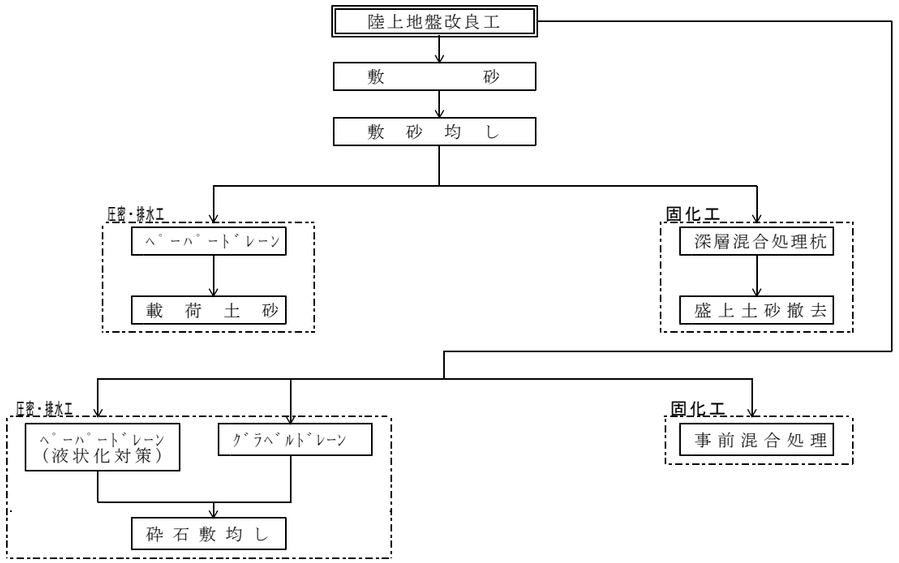
令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 目次	１１節　陸上地盤改良工 １．総則 １－１　適用範囲 ---------- 3-11- 1 １－２　積算ツリー ---------- 3-11- 1 １－３　積算フロー ---------- 3-11- 2 １－４　標準的な積算手順 ---------- 3-11- 2 １－５　数量計算等 １－５－１ 集計数位 ---------- 3-11- 3 １－５－２ 材料割増率 ---------- 3-11- 3 １－５－３ 数量の算出 ---------- 3-11- 3 １－５－４ 数量計算の非控除 ---------- 3-11- 4 １－５－５ 測線・測点間隔 ---------- 3-11- 4 ２．圧密・排水工 ２－１　サンドドレーン ２－１－１　適用範囲 ---------- 3-11- 5 ２－１－２　施工フロー ---------- 3-11- 5 ２－１－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 5 ２－１－４　作業機械構成 ---------- 3-11- 5 ２－１－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 6 ２－２　敷砂 ２－２－１　適用範囲 ---------- 3-11- 6 ２－２－２　施工フロー ---------- 3-11- 6 ２－２－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 6 ２－２－４　施工方式 ---------- 3-11- 6 ２－２－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 7 ２－３　敷砂均し ２－３－１　適用範囲 ---------- 3-11- 7 ２－３－２　施工フロー ---------- 3-11- 7 ２－３－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 7 ２－３－４　施工方式 ---------- 3-11- 7 ２－３－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 7 ２－４　載荷土砂 ２－４－１　適用範囲 ---------- 3-11- 8 ２－４－２　施工フロー ---------- 3-11- 8 ２－４－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 8 ２－４－４　載荷土砂投入 ２－４－４－１　施工方式 ---------- 3-11- 8 ２－４－４－２　施工歩掛 ---------- 3-11- 8 ２－４－５　載荷土砂均し ２－４－５－１　施工方式 ---------- 3-11- 8 ２－４－５－２　施工歩掛 ---------- 3-11- 8 ２－４－６　載荷土砂撤去 ---------- 3-11- 8 ２－５　ペーパードレーン ２－５－１　適用範囲 ---------- 3-11- 9 ２－５－２　施工フロー ---------- 3-11- 9 ２－５－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 9 ２－５－４　作業機械構成 ---------- 3-11-10 ２－５－５　施工歩掛 ---------- 3-11-10 ３．締固工 ３－１　サンドコンパクションパイル ３－１－１　適用範囲 ---------- 3-11-12 ３－１－２　施工フロー ---------- 3-11-12 ３－１－３　代価表作成手順 ---------- 3-11-12 ３－１－４　作業機械構成 ---------- 3-11-13 ３－１－５　施工歩掛 ---------- 3-11-13 ３－２　敷　砂 ---------- 3-11-14 ３－３　敷砂均し ---------- 3-11-14 ３－４　盛上土砂撤去 ---------- 3-11-14 ４．固化工 ４－１　敷　砂 ---------- 3-11-14 ４－２　敷砂均し ---------- 3-11-14 ４－３　盛上土砂撤去 ---------- 3-11-14	１１節　陸上地盤改良工 １．総則 １－１　適用範囲 ---------- 3-11- 1 １－２　積算ツリー ---------- 3-11- 1 １－３　積算フロー ---------- 3-11- 2 １－４　標準的な積算手順 ---------- 3-11- 2 １－５　数量計算等 １－５－１ 集計数位 ---------- 3-11- 3 １－５－２ 材料割増率 ---------- 3-11- 3 １－５－３ 数量の算出 ---------- 3-11- 3 １－５－４ 数量計算の非控除 ---------- 3-11- 4 １－５－５ 測線・測点間隔 ---------- 3-11- 4 ２．圧密・排水工 ２－１　敷砂 ２－１－１　適用範囲 ---------- 3-11- 5 ２－１－２　施工フロー ---------- 3-11- 5 ２－１－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 5 ２－１－４　施工方式 ---------- 3-11- 5 ２－１－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 5 ２－２　敷砂均し ２－２－１　適用範囲 ---------- 3-11- 5 ２－２－２　施工フロー ---------- 3-11- 5 ２－２－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 5 ２－２－４　施工方式 ---------- 3-11- 6 ２－２－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 6 ２－３　載荷土砂 ２－３－１　適用範囲 ---------- 3-11- 6 ２－３－２　施工フロー ---------- 3-11- 6 ２－３－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 6 ２－３－４　載荷土砂投入 ２－３－４－１　施工方式 ---------- 3-11- 6 ２－３－４－２　施工歩掛 ---------- 3-11- 7 ２－３－５　載荷土砂均し ２－３－５－１　施工方式 ---------- 3-11- 7 ２－３－５－２　施工歩掛 ---------- 3-11- 7 ２－３－６　載荷土砂撤去 ---------- 3-11- 7 ２－４　ペーパードレーン ２－４－１　適用範囲 ---------- 3-11- 8 ２－４－２　施工フロー ---------- 3-11- 8 ２－４－３　代価表作成手順 ---------- 3-11- 8 ２－４－４　作業機械構成 ---------- 3-11- 9 ２－４－５　施工歩掛 ---------- 3-11- 9 ３．固化工 ３－１　敷　砂 ---------- 3-11-11 ３－２　敷砂均し ---------- 3-11-11 ３－３　盛上土砂撤去 ---------- 3-11-11	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除 項番号の修正

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 目次	参考資料 参考資料－１　陸上深層混合処理杭 ---------- 3-11-(1) 参考資料－２　ペーパードレーン（液状化対策） ---------- 3-11-(9) 参考資料－３　グラベルドレーン ---------- 3-11-(13) 参考資料－４　ロッドコンパクション ---------- 3-11-(19) 参考資料－５　事前混合処理 ---------- 3-11-(25) 補足資料 補足資料－１　陸上地盤改良工 ---------- 3-11-(33)	参考資料 参考資料－１　陸上深層混合処理杭 ---------- 3-11-(1) 参考資料－２　ペーパードレーン（液状化対策） ---------- 3-11-(9) 参考資料－３　グラベルドレーン ---------- 3-11-(13) ---------- 参考資料－４　事前混合処理 ---------- 3-11-(19)	項番号の修正 クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
11節 陸上地盤改良工 P3-11-1	１－２　積算ツリー  	１－２　積算ツリー  	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-2	１－３　積算フロー  １－４　標準的な積算手順 ［サンドドレーン］ ２－２、２－３　敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 ２－１　サンドドレーンの積算 → ・砂杭打込 代価表 ２－４　載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「１２節　土工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表 ［サンドコンパクションパイル］ ３－２、３－３　敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 ３－１　ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙの積算 → ・締固砂杭打込　代価表 盛上土砂撤去の積算「１２節　土工」参照 ［ペーパードレーン］ ２－２、２－３　敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 ２－５　ペーパードレーンの積算 → ・ペーパードレーン打込 代価表 ２－４　載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「１２節　土工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表	１－３　積算フロー  ［ペーパードレーン］ ２－１、２－２　敷　砂　の　積　算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 ２－４　ペーパードレーンの積算 → ・ペーパードレーン打込 代価表 ２－３　載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「１２節　土工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表	クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-3

現行（令和７年度）

１－５　数量計算等
１－５－１　集計数位

種別（レベル3）	細別（レベル4）	内容	単位	数位	摘要
圧密・排水工	敷砂	敷砂量	m^3	１位止を原則とする。	四捨五入
	敷砂均し	均し対象土量	〃		
	サンドドレーン	砂杭本数	本		
	載荷土砂	載荷土砂量	m^3		
		均し対象土量	〃		
	ペーパドレーン	ドレーン本数	本		
		アンカー数	個		
締固工	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	締固砂杭本数	本		

１－５－２　材料割増率

種別（レベル3）	細別（レベル4）	内容	割増率（%）	摘要
圧密・排水工	敷砂	敷砂	30	
	サンドドレーン	砂杭用砂	25	
	載荷土砂	載荷土砂量	30	
	ペーパドレーン	ドレーン材	4	
		アンカー	5	
締固工	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	締固砂杭用砂	40	

注）上記により難い場合は、別途考慮する。

改定（令和８年度）

１－５　数量計算等
１－５－１　集計数位

種別（レベル3）	細別（レベル4）	内容	単位	数位	摘要
圧密・排水工	敷砂	敷砂量	m^3	１位止を原則とする。	四捨五入
	敷砂均し	均し対象土量	〃		
	載荷土砂	載荷土砂量	m^3		
		均し対象土量	〃		
	ペーパドレーン	ドレーン本数	本		
		アンカー数	個		

１－５－２　材料割増率

種別（レベル3）	細別（レベル4）	内容	割増率（%）	摘要
圧密・排水工	敷砂	敷砂	30	
	載荷土砂	載荷土砂量	30	
	ペーパドレーン	ドレーン材	4	
		アンカー	5	

注）上記により難い場合は、別途考慮する。

コメント

クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-4

現行（令和７年度）

4）サンドドレーンおよびサンドコンパクションパイル
(1) 砂杭本数および締固砂杭本数
改良区域、造成杭径および改良杭の配置を考慮して算出する。
(2) 砂杭長および締固砂杭長
改良ブロック毎に平均改良杭長を算出する。

5）ペーパードレーン

改定（令和８年度）

4）ペーパードレーン

コメント

クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

項番号の修正

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 P3-11-5

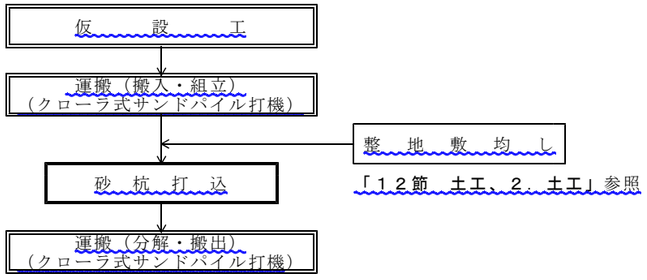
現行（令和７年度）

２．圧密・排水工
２－１サンドドレーン
サンドドレーンに含まれる代価表は、下表のとおりである。

種別（レベル3）	細別（レベル4）	積算要素（レベル6）	
圧密・排水工	サンドドレーン	砂杭打込	砂杭打込　１本当り

２－１－１　適用範囲
本項は、クローラ式サンドパイル打機による砂杭打込工事に適用する。

２－１－２　施工フロー



注）本項の歩掛は、□の部分である。

改定（令和８年度）

コメント

クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-5			クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
11節 陸上地盤改良工 P3-11-6			クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

２－１－３　代価表作成手順
［サンドドレーンの積算］

・砂杭径
・規格・仕様等
・施工場所
→ 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算

↓

【第４章　市場単価等】

・施工規模 → 加算率の選定 → ①加算率

↓

・時間的制約を受ける場合
・夜間作業
→ 補正係数の選定 → ②補正係数

↓

・砂杭径
・砂杭長
・割増率
→ １本当り砂量の算定 → ③１本当り砂量

↓

・打設長
・標準市場単価
①加算率
②補正係数
③１本当り砂量
→ 代価表の作成 → ・砂杭打込１本当り代価表

２－１－４　作業機械構成

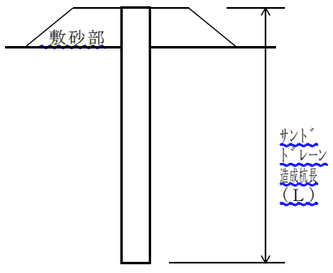
区　　分	規　　格		摘　　要
	打込長20m未満	打込長20m以上	
クローラ式サンドパイル打機	バイブロ式　83kW リーダ長　30m 35～37 t吊	バイブロ式　108kW リーダ長　45m 40 t吊	
発動発電機	200kVA	350kVA	
空気槽	7kg／cm^2，3m^3		
空気圧縮機	10.5～11m^3／min	18～19m^3／min	
ホイールローダ	0.8m^3		

２－１－５　施工歩掛

１）市場単価の算定

「第４章　市場単価等」による。

２）サンドドレーン造成杭長（Ｌ）



３）代価表
(1) 砂杭打込　1本当り

名　　称	形状寸法	単　位	数　量	摘　　要
砂		m^3		割増しを含む
砂杭打込	施工機械あり	m		市場単価

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-6</td>
<td>１本当り扱い砂量は、次式により算出する
$V = \left(\frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times \left(1 + \frac{W}{100}\right)\right)$　（小数３位四捨五入）
V：1本当り扱い砂量（m^3／本）
π：円周率（3.14）
D：砂杭径（m）
L：造成杭長（m）
W：割増率（%）

２－２　敷　砂
敷砂に含まれる代価表は、下表のとおりである。
<table><tr><th>種別(レベル3)</th><th>細別(レベル4)</th><th colspan="2">積算要素(レベル6)</th></tr><tr><td>圧密・排水工</td><td>敷　　砂</td><td>敷　砂　投　入</td><td>敷砂投入　　1,000m^3当り</td></tr></table>
２－２－１　適用範囲
本項は、サンドドレーン等に先だって行う敷砂工事に適用する。

２－２－２　施工フロー

２－２－３　代価表作成手順
［敷砂投入の積算］
２－２－５
代　価　表　の　作　成　→　・敷砂投入 1,000m^3当り代価表

２－２－４　施工方式</td>
<td>２－１　敷　砂
敷砂に含まれる代価表は、下表のとおりである。
<table><tr><th>種別(レベル3)</th><th>細別(レベル4)</th><th colspan="2">積算要素(レベル6)</th></tr><tr><td>圧密・排水工</td><td>敷　　砂</td><td>敷　砂　投　入</td><td>敷砂投入　　1,000m^3当り</td></tr></table>
２－１－１　適用範囲
本項は、ペーパードレーンに先だって行う敷砂工事に適用する。

２－１－２　施工フロー

２－１－３　代価表作成手順
［敷砂投入の積算］
２－１－５
代　価　表　の　作　成　→　・敷砂投入 1,000m^3当り代価表

２－１－４　施工方式</td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

項番号の修正

サンドドレーン削除に伴う記載の変更</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-7</td>
<td>２－２－５　施工歩掛

２－３　敷砂均し

２－３－１　適用範囲
本項は、サンドドレーン等に先だって行う敷砂工事に適用する。

２－３－２　施工フロー

２－３－３　代価表作成手順
［敷砂均しの積算］
２－３－５
代　価　表　の　作　成　→　・敷砂均し 100m^3当り代価表

２－３－４　施工方式

２－３－５　施工歩掛</td>
<td>２－１－５　施工歩掛

２－２　敷砂均し

２－２－１　適用範囲
本項は、ペーパードレーンに先だって行う敷砂工事に適用する。

２－２－２　施工フロー

２－２－３　代価表作成手順
［敷砂均しの積算］
２－２－５
代　価　表　の　作　成　→　・敷砂均し 100m^3当り代価表

２－２－４　施工方式

２－２－５　施工歩掛</td>
<td>項番号の修正

サンドドレーン削除に伴う記載の変更</td>
</tr>
</table>

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-8	**２－４　載荷土砂** **２－４－１　適用範囲** 本項は、サンドドレーンの後に施工される載荷工事に適用する。 **２－４－２　施工フロー** **２－４－３　代価表作成手順** **「本節　２．圧密・排水工、２－２　敷　砂、２－２－３　代価表作成手順」**を適用する。 **２－４－４　載荷土砂投入** **２－４－４－１　施工方式** **「本節　２．圧密・排水工、２－２　敷　砂、２－２－４　施工方式」**を適用する。 **２－４－４－２　施工歩掛** **２－４－５ 載荷土砂均し** **２－４－５－１　施工方式** **「本節　２．圧密・排水工、２－３　敷砂均し、２－３－４　施工方式」**を適用する。 **２－４－５－２　施工歩掛** １）作業能力 **「本節　２．圧密・排水工、２－３　敷砂均し、２－３－５　施工歩掛」**を適用する。 **２－４－６ 載荷土砂撤去**	**２－３　載荷土砂** **２－３－１　適用範囲** 本項は、ペーパードレーンの後に施工される載荷工事に適用する。 **２－３－２　施工フロー** **２－３－３　代価表作成手順** **「本節　２．圧密・排水工、２－１　敷　砂、２－１－３　代価表作成手順」**を適用する。 **２－３－４　載荷土砂投入** **２－３－４－１　施工方式** **「本節　２．圧密・排水工、２－１　敷　砂、２－１－４　施工方式」**を適用する。 **２－３－４－２　施工歩掛** **２－３－５ 載荷土砂均し** **２－３－５－１　施工方式** **「本節　２．圧密・排水工、２－２　敷砂均し、２－２－４　施工方式」**を適用する。 **２－３－５－２　施工歩掛** １）作業能力 **「本節　２．圧密・排水工、２－２　敷砂均し、２－２－５　施工歩掛」**を適用する。 **２－３－６ 載荷土砂撤去**	項番号の修正 サンドドレーン削除に伴う記載の変更
11節 陸上地盤改良工 P3-11-9	**２－５　ペーパードレーン** **２－５－１　適用範囲** **２－５－２　施工フロー** **２－５－３　代価表作成手順** **［ペーパードレーンの積算］** **２－５－４** ・打込長 → 作業機械の規格と構成の決定 → ①ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ施工機規格 ↓ ・土質・施工条件 → 作業機械の規格の変更 → ・変更が必要な場合、別途考慮 ↓ ・打込長 ・障害区分 → 能力補正係数の算定 → ②打込長能力補正係数 ③障害区分能力補正係数 ↓ **２－５－５** ②打込長能力補正係数 ③障害区分能力補正係数 → １日当り作業能力の算定 → ④１日当り打込本数 ↓	**２－４　ペーパードレーン** **２－４－１　適用範囲** **２－４－２　施工フロー** **２－４－３　代価表作成手順** **［ペーパードレーンの積算］** **２－４－４** ・打込長 → 作業機械の規格と構成の決定 → ①ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ施工機規格 ↓ ・土質・施工条件 → 作業機械の規格の変更 → ・変更が必要な場合、別途考慮 ↓ ・打込長 ・障害区分 → 能力補正係数の算定 → ②打込長能力補正係数 ③障害区分能力補正係数 ↓ **２－４－５** ②打込長能力補正係数 ③障害区分能力補正係数 → １日当り作業能力の算定 → ④１日当り打込本数 ↓	項番号の修正
11節 陸上地盤改良工 P3-11-10	**２－５－４　作業機械構成** **２－５－５　施工歩掛**	**２－４－４　作業機械構成** **２－４－５　施工歩掛**	項番号の修正

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-12			クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

３．締 固 工

３－１　サンドコンパクションパイル

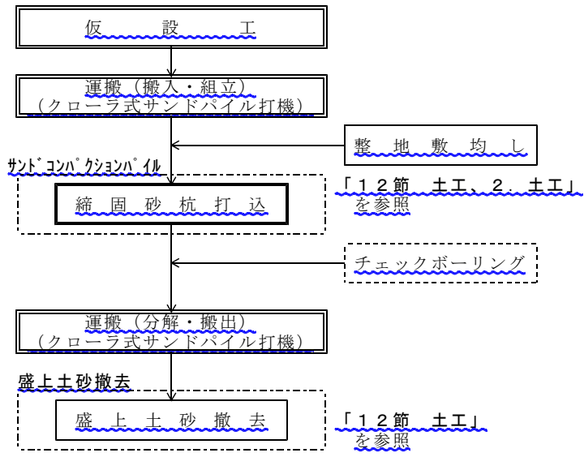
サンドコンパクションパイルに含まれる代価表は、下表のとおりである。

種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)	
締　固　工	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ	締固砂杭打込	締固砂杭打込　　１本当り
	盛上土砂撤去	盛上土砂撤去	「１２節　土工」参照

３－１－１　適用範囲

本項は、クローラ式サンドパイル打機による、締固砂杭工事に適用する。

３－１－２　施工フロー



注）本項の歩掛は、［　　］の部分である。

３－１－３　代価表作成手順

［締固砂杭打込の積算］

・砂杭径
・規格・仕様等
・施工場所
→ 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算

↓

【第４章　市場単価等】

・施工規模 → 加算率の選定 → ①加算率

↓

・時間的制約を受ける場合
・夜間作業
→ 補正係数の選定 → ②補正係数

↓

・砂杭径
・砂杭長
・割増率
→ １本当り砂量の算定 → ③１本当り砂量

↓

・打設長
・標準市場単価
①加算率
②補正係数
③１本当り砂量
→ 代価表の作成 → ・締固砂杭打込１本当り代価表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 P3-11-13			クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

３－１－４　作業機械構成

区　　分	規　　格		
	打込長20m未満	打込長20m未満(液状化対策)	打込長20～35m未満
クローラ式サンドパイル打機	バイブロ式　83kW リーダ長　30m 35～37　t吊	バイブロ式　105kW リーダ長　30m	バイブロ式　108kW リーダ長　45m
		40ｔ吊	
発動発電機	200kVA	350kVA	
空気槽	7kg／cm^2　3m^3		
空気圧縮機	10.5～11m^3／min		18～19m^3／min
ホイールローダ	0.8m^3		1.2m^3

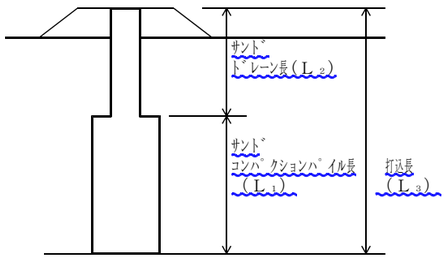
３－１－５　施工歩掛

１）市場単価の算定

「第４章　市場単価等」による。

２）サンドコンパクションの造成杭長

サンドドレーン併用杭の場合
併用工の場合の規格・仕様は区分毎の杭長（L_1、L_2）で
判断せず、造成する砂杭１本当りの打設長（L_3）を対象とする。



３）代価表
(1) 締固砂杭打込　１本当り

名　　称	形状寸法	単位	数　量	摘　　要
砂		m^3		割増しを含む
締固砂杭打込	ｻﾝﾄﾞﾄﾞﾚｰﾝ長	m		市場単価
	ｻﾝﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝﾊﾟｲﾙ長	m		〃

１本当り扱い砂量は、次式により算出する

$$\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times L_1\times\left(1+\frac{W_1}{100}\right)+\frac{\pi}{4}\times D_2^2\times L_2\times\left(1+\frac{W_2}{100}\right)$$

（小数３位四捨五入）

Ｖ　：１本当り扱い砂量（m^3／本）
π　：円周率（3.14）
D_1：サンドコンパクション砂杭径（m）
L_1：サンドドコンパクション長（m）
W_1：サンドコンパクション割増率（%）
D_2：サンドドレーン杭径（m）
L_2：サンドドレーン長（m）
W_2：サンドドレーン割増率（%）

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
P3-11-14</td>
<td>３－２　敷　砂
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷　砂」を適用する。

３－３　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－３　敷砂均し」を適用する。

３－４　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。

４．固 化 工
４－１　敷　砂
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷　砂」を適用する。

４－２　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－３　敷砂均し」を適用する。

４－３　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。</td>
<td>３．固 化 工
３－１　敷　砂
「本節　２．圧密・排水工　２－１　敷　砂」を適用する。

３－２　敷砂均し
「本節　２．圧密・排水工　２－２　敷砂均し」を適用する。

３－３　盛上土砂撤去
「１２節　土工」を適用する。</td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

項番号の修正</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－２
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ（液状化対策）
P3-11-(11)</td>
<td>２－３　作業機械構成
<table><tr><th rowspan="2">区　　分</th><th colspan="3">打　込　長</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>15m以下</th><th>20m以下</th><th>25m以下</th></tr><tr><td>ペーパードレーン施工機</td><td>機関出力
88kW</td><td>125kW</td><td>132kW</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>バックホウ</td><td colspan="3">排出ガス対策型（第２次基準値）
クローラ型　山積0.45m³
（平積0.35m³）</td></tr><tr><td>付属機器</td><td colspan="3">１　式</td></tr><tr><td>施工管理計</td><td colspan="3">１　式</td></tr></table>注）土質、施工条件等により、本表中の規格により難い場合は、別途考慮することができる。</td>
<td>２－３　作業機械構成
<table><tr><th rowspan="2">区　　分</th><th colspan="3">打　込　長</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr><tr><th>15m以下</th><th>20m以下</th><th>25m以下</th></tr><tr><td>ペーパードレーン施工機</td><td>機関出力
88kW</td><td>125kW</td><td>132kW</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>バックホウ</td><td colspan="3">排出ガス対策型（第２次基準値）
クローラ型　0.45m³</td></tr><tr><td>付属機器</td><td colspan="3">１　式</td></tr><tr><td>施工管理計</td><td colspan="3">１　式</td></tr></table>注）土質、施工条件等により、本表中の規格により難い場合は、別途考慮することができる。</td>
<td>機械器具等損料改定に伴う変更</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－２
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾄﾞﾚｰﾝ（液状化対策）
P3-11-(12)</td>
<td>３）代価表
(1) ペーパードレーン(液状化対策)打込　　１日（　　本）当り
<table><tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単 位</th><th>数　量</th><th>摘　　要</th></tr><tr><td>ドレーン材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ・ｷｬｯﾌﾟ</td><td></td><td>個</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>副資材</td><td>ドレーンジョイント</td><td>%</td><td>1.0</td><td>ドレーン材料費の</td></tr><tr><td>ペーパードレーン施工機</td><td>kW</td><td>日</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>施工管理計</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>バックホウ</td><td>排出ｶﾞｽ対策型
（第２次基準値）
ｸﾛｰﾗ型　山積0.45m³
（平積0.35m³）</td><td>〃
〃</td><td>0.5
0.5</td><td></td></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>雑材料</td><td></td><td>%</td><td>6.0</td><td>付属機器含む</td></tr></table>注）地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。</td>
<td>３）代価表
(1) ペーパードレーン(液状化対策)打込　　１日（　　本）当り
<table><tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単 位</th><th>数　量</th><th>摘　　要</th></tr><tr><td>ドレーン材</td><td></td><td>m</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ・ｷｬｯﾌﾟ</td><td></td><td>個</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr><tr><td>副資材</td><td>ドレーンジョイント</td><td>%</td><td>1.0</td><td>ドレーン材料費の</td></tr><tr><td>ペーパードレーン施工機</td><td>kW</td><td>日</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr><tr><td>施工管理計</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>バックホウ</td><td>排出ｶﾞｽ対策型
（第２次基準値）
ｸﾛｰﾗ型　0.45m³</td><td>〃
〃</td><td>0.5
0.5</td><td></td></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>雑材料</td><td></td><td>%</td><td>6.0</td><td>付属機器含む</td></tr></table>注）地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。</td>
<td>機械器具等損料改定に伴う変更</td>
</tr>
</table>

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 参考資料－３ ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ P3-11-(17)

現行（令和７年度）

２）代価表
（1）砕石杭打込　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単　位	数　量	摘　要
砕石		m^3		割増しを含む
ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ施工機	式、　ｔ級	日	1	標準運転時間
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型、　kVA	〃	1	
ホイールローダ	1.2m^3	〃	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
普通作業員		〃	2	
雑材料		%	2	削孔部保護設備を含む

改定（令和８年度）

２）代価表
（1）砕石杭打込　１日（　　本）当り

名　称	形状寸法	単　位	数　量	摘　要
砕石		m^3		割増しを含む
ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾄﾞﾚｰﾝ施工機	式、　ｔ級	日	1	標準運転時間
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型、　kVA	〃	1	
ホイールローダ	1.3～1.4m^3	〃	1	標準運転時間
施工管理計		〃	1	
世話役		人	1	
特殊作業員		〃	1	
普通作業員		〃	2	
雑材料		%	2	削孔部保護設備を含む

コメント

規格の見直し

掲載頁：11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(19)

現行（令和７年度）

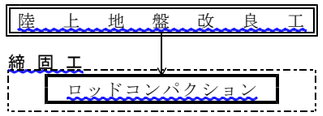
参考資料－４　ロッドコンパクション

１．総則

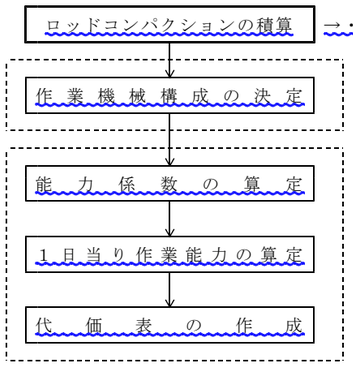
１－１　適用範囲

本項は、陸上で行う漁港漁場関係構造物のロッドコンパクション（振動棒締固め工法）による液状化対策工事の施工に適用する。なお、吸水型振動棒締固め工法を除く。

１－２　積算フロー



１－３　標準的な積算手順
［ロッドコンパクション］



→・ロッドコンパクション打込代価表

注）改良速度等を定めて施工する場合は、「本節 付属資料 ロッドコンパクションの能力算定」を適用する。

１－４　数量計算等

１－４－１　集計数位

種別(ﾚﾍﾞﾙ3)	細別(ﾚﾍﾞﾙ4)	内　容	単位	数　位	摘　要
締固工	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ本数	本	1位止を原則とする。	四捨五入

１－４－２　材料割増率

種別(ﾚﾍﾞﾙ3)	細別(ﾚﾍﾞﾙ4)	材　料	割増率（%）	摘　要
締固工	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ	補給砂	30	

注）上記により難い場合は、別途考慮する。

改定（令和８年度）

コメント

クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

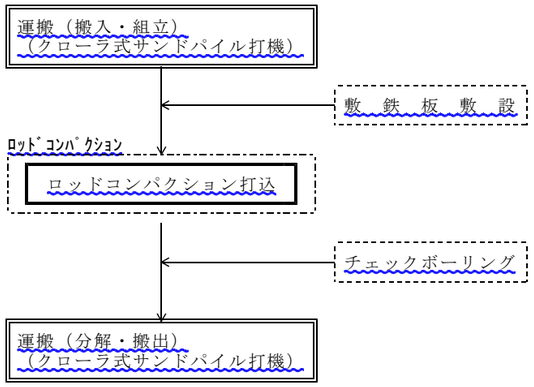
掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(20)			クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

２．ロッドコンパクション

ロッドコンパクションに含まれる代価表は、下表のとおりである。

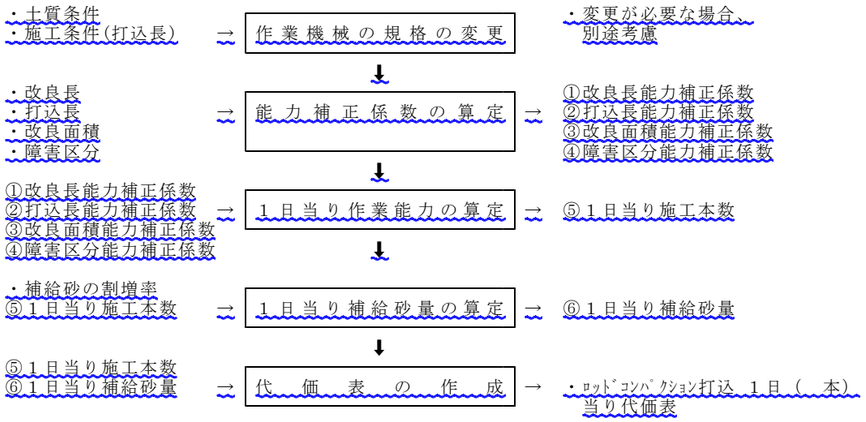
種別(ﾚﾍﾞﾙ3)	細別(ﾚﾍﾞﾙ4)	積算要素(レベル6)	
締　固　工	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ打込	ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ打込　１日（　本）当り

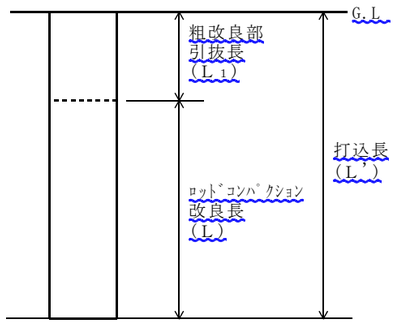
２－１　施工フロー



注）本項の歩掛は、□の部分である。

２－２　代価表作成手順



掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(20)	**２－３　作業機械構成** <table><tr><td rowspan="2">区　　分</td><td>規　　格</td></tr><tr><td>打込長20m以下</td></tr><tr><td rowspan="3">クローラ式サンドパイル打機</td><td>バイブロ式 105kW</td></tr><tr><td>リーダ長　30m</td></tr><tr><td>40ｔ吊</td></tr><tr><td>発　動　発　電　機</td><td>350kVA</td></tr><tr><td>ホ　イ　ー　ル　ロ　ー　ダ</td><td>0.8m³</td></tr></table>注）打込長が20mを超える場合等、本表中の規格により難い場合は別途考慮できる。		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除
11節 陸上地盤改良工 参考資料－４ ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ P3-11-(21)	**２－４　施工歩掛** １）作業能力 (1) 能力算定式 $Q = \dfrac{L_i \times (1.00 + E_1 + E_2 + E_3 + E_4) \times T}{L}$　（小数２位四捨五入） Q　：１日当り施工本数（本／日） L_i：１時間当り標準改良延長（40.0m／hr） E_1：改良長能力係数 E_2：打込長比能力係数 E_3：改良面積能力係数 E_4：障害区分能力係数 T　：クローラ式サンドパイル打機の標準運転時間 L　：１本当りロッドコンパクション改良長（m／本） (2) ロッドコンパクションの改良長  		クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(21)</td>
<td>(3) 能力係数等
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>補　正　係　数</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td rowspan="3">E₁</td><td rowspan="3">ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
改良長(L)</td><td>5m未満</td><td>-0.10</td><td rowspan="3">小数３位四捨五入</td></tr>
<tr><td>5～10m 〃</td><td>-0.02×(10-L)</td></tr>
<tr><td>10～20m以下</td><td>0.00</td></tr>
<tr><td>E₂</td><td>打込長比 $\left(\frac{L}{L'}\right)$</td><td></td><td>-0.50×(1.00-L/L')</td><td>小数３位四捨五入</td></tr>
<tr><td>E₃</td><td>改良面積（A）</td><td>A≦3,000m²</td><td>$0.055\times\frac{A}{1,000}$</td><td>小数３位四捨五入
改良面積が3,000m²以上の場合はA＝3,000 m²とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">E₄</td><td rowspan="2">障害区分</td><td>障害なし</td><td>0.00</td><td rowspan="2">障害区分の補足表参照</td></tr>
<tr><td>障害あり</td><td>-0.05</td></tr>
</table>
障害区分の補足表
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>障害区分の適用明細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">E₄</td><td rowspan="2">障害区分</td><td>障害なし</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来すことがない。</td></tr>
<tr><td>障害あり</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受ける。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来す。</td></tr>
</table></td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(22)</td>
<td>２）使用材料
(1) ロッドコンパクション用補給砂
補給砂については、改良周辺部の既存砂等を流用することを標準とする。ただし、既存砂等が流用できない場合は、購入材料を使用できる。
１日当り扱い砂量は、次式により算出する。ただし、試験施工等を実施しこれにより難い場合は、別途定めることができる。
$V=(0.28m^3/m\times L+0.10m^3/m\times L_1)\times(1+W_1)\times Q$（小数３位四捨五入）
V　：１日当り扱い砂量（m^3／日）
L　：改良長（m）
L_1：粗改良部引抜長（m）
W_1：割増率（30%）
Q　：１日当り施工本数（本／日）</td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
</table>

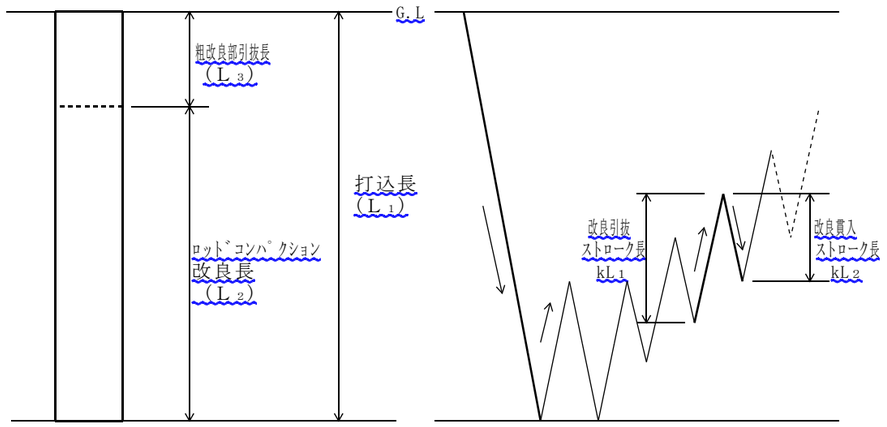
<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(22)</td>
<td>３）代価表
(1) ロッドコンパクション打込　１日（　　本）当り
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>形状寸法</th><th>単　位</th><th>数　量</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>補　給　砂</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>割増しを含む</td></tr>
<tr><td>クローラ式サンドパイル打機</td><td>105kW,30m,40t吊</td><td>日</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>発　動　発　電　機</td><td>350kVA</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td>ホ　イ　ー　ル　ロ　ー　ダ</td><td>0.8 m³</td><td>〃</td><td>1</td><td>標準運転時間</td></tr>
<tr><td>施　工　管　理　計</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td>世　　話　　役</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td>特　殊　作　業　員</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr>
<tr><td>普　通　作　業　員</td><td></td><td>〃</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　　材　　料</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
注）1.地盤が軟弱で足場が悪く、機械の移動のために敷板等を必要とするときは、別途計上する。
2.補給砂は、購入材を使用する場合に計上する。</td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(23)</td>
<td>付属資料　ロッドコンパクションの能力算定

１．適用範囲
本項は、陸上で行う漁港漁場関係構造物のロッドコンパクション（振動棒締固め工法）による液状化対策工事において、改良速度等を定めて施工する場合の能力算定に適用する。なお、吸水型振動棒締固め工法については適用範囲外とする。

２．作業能力
１）能力算定式
$Q = \dfrac{60 \times T \times (e_1 \pm E_1 \pm E_2)}{Cm}$　（小数２位四捨五入）
Q　：１日当り施工本数（本／日）
T　：クローラ式サンドパイル打機の標準運転時間
e_1：基準作業能力係数　(0.6)
E_1：改良面積能力係数
E_2：障害区分能力係数
Cm：サイクルタイム（min／本）

$Cm = t \pm \dfrac{L_1}{V_1} \pm \dfrac{L_2}{V_2} \pm \dfrac{L_3}{V_3}$
t　：貫入・引抜設備の移動時間　(2min)
L_1：打込長（m）
L_2：改良長（m）
L_3：粗改良部引抜長（m）
V_1：打込速度（6.5m／min）
V_2：改良速度（m／min）
V_3：粗改良部引抜速度（7.0m／min）

$V_2 = \dfrac{(kL_1 - kL_2)}{\left(\dfrac{kL_1}{kv_1} \pm \dfrac{kL_2}{kv_2}\right)}$
kL_1：改良引抜ストローク長（m）
kL_2：改良貫入ストローク長（m）
kv_1：改良引抜速度（m／min）
kv_2：改良貫入速度（m／min）</td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(23)</td>
<td>２）ロッドコンパクションの改良長および改良ストローク長
 
</td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－４
ﾛｯﾄﾞｺﾝﾊﾟｸｼｮﾝ
P3-11-(24)</td>
<td>３）能力係数等
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>補　正　係　数</th><th>摘　　要</th></tr>
<tr><td>E１</td><td>改良面積（A）</td><td>A≦3,000m²</td><td>0.055×$\frac{A}{1,000}$</td><td>小数３位四捨五入
改良面積が3,000m²以上の場合はA＝3,000m²とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">E２</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>0.00</td><td rowspan="2">障害区分の補足表参照</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>-0.05</td></tr>
</table>
障害区分の補足表
<table>
<tr><th colspan="3">係　数　区　分</th><th>障害区分の適用明細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">E２</td><td rowspan="2">障　害　区　分</td><td>障　害　な　し</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受けることがない。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来すことがない。</td></tr>
<tr><td>障　害　あ　り</td><td>構造物等による障害のため、作業が中断したり、機械の行動に制約を受ける。また、現場の広さにより機械の移動に支障を来す。</td></tr>
</table></td>
<td></td>
<td>クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除</td>
</tr>
<tr>
<td>11節 陸上地盤改良工
参考資料－５
事前混合処理
P3-11-(25)</td>
<td>参考資料－５　事前混合処理</td>
<td>参考資料－４　事前混合処理</td>
<td>項番号の修正</td>
</tr>
</table>

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
11節 陸上地盤改良工 参考資料－５ 事前混合処理 P3-11-(26)			規格の見直し

２－４　事前混合処理設備の機械構成

１）標準的な機械構成

現行（令和７年度）

区分		規格 B500型	数量	規格 B900型	数量
混合設備	引出コンベヤ	B500×L 7.0m　5.5kw	2	B1,200×L 11.0m 22kw	1
	３段トリッパコンベヤ			B1,050×L 15.4m 30kw	1
	中継コンベヤ①	B500×L 7.0m　5.5kw	2		
	中継コンベヤ②注*1	B500×L 7.0m　5.5kw	(1)	B900×L 19.5m 22kw	(1)
	放出コンベヤ	B500×L 7.0m　5.5kw	1	B900×L 21.4m 37kw	1
材貯蔵設料備	土砂ホッパ	10m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2	20m³ 土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2
	セメントサイロ	内容量 50t	1	内容量 50t	2
	セメントサービスタンク	3t　ｾﾒﾝﾄﾌｨｰﾀﾞ付	1	内容量 5t	1
分離防止設備	分離防止剤溶解機	20kg/hr	1	20kg/hr	4
	分離防止剤溶解ミキサ	20m³ 3.7kw　角形水槽	1	20m³ 3.7kw	2
	分離防止剤貯蔵槽	20～24m³ 角形水槽	2	20～24m³ 角形水槽	4
	海水槽	20～24m³ 角形水槽	1	20～24m³ 角形水槽	1
	水中撹拌機	0.75kw	8	0.75kw	16
	分離防止剤液ポンプ	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 15kw	1	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 30kw	1
	電磁流量計	径50mm	1	径100mm	1
	水汲上げポンプ	3ｲﾝﾁ 3.7kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1
	給水ポンプ	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1	2ｲﾝﾁ 1.5kw	2
	給水ポンプ	2ｲﾝﾁ 1.5kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	2
エアー設備	空気圧縮機	1.4m³/min 12kw	1	2.5m³/min 18kw	1
	レシーバタンク			7kg/cm² 1.5m³ ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔ	1
操作室等設備	運転操作室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	試験室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	運転員休憩室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	倉庫	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
その他	発電機	200KVA	1	450KVA	1
	管理装置		1		1

２－４　事前混合処理設備の機械構成

１）標準的な機械構成

改定（令和８年度）

区分		規格 B500型	数量	規格 B900型	数量
混合設備	引出コンベヤ	B500×L 7.0m　5.5kw	2	B1,200×L 11.0m 22kw	1
	３段トリッパコンベヤ			B1,050×L 15.4m 30kw	1
	中継コンベヤ①	B500×L 7.0m　5.5kw	2		
	中継コンベヤ②注*1	B500×L 7.0m　5.5kw	(1)	B900×L 19.5m 22kw	(1)
	放出コンベヤ	B500×L 7.0m　5.5kw	1	B900×L 21.4m 37kw	1
材貯蔵設料備	土砂ホッパ	10m³　土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2	20m³ 土砂ﾌｨｰﾀﾞ付	2
	セメントサイロ	内容量 50t	1	内容量 50t	2
	セメントサービスタンク	3t　ｾﾒﾝﾄﾌｨｰﾀﾞ付	1	内容量 5t	1
分離防止設備	分離防止剤溶解機	20kg/hr	1	20kg/hr	4
	分離防止剤溶解ミキサ	20m³ 3.7kw　角形水槽	1	20m³ 3.7kw	2
	分離防止剤貯蔵槽	20～24m³ 角形水槽	2	20～24m³ 角形水槽	4
	海水槽	20～24m³ 角形水槽	1	20～24m³ 角形水槽	1
	水中撹拌機	0.75kw	8	0.75kw	16
	分離防止剤液ポンプ	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 15kw	1	ﾓﾉﾎﾟﾝﾌﾟ 30kw	1
	電磁流量計	径50mm	1	径100mm	1
	水汲上げポンプ	3ｲﾝﾁ 3.7kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1
	給水ポンプ	4ｲﾝﾁ 3.7kw	1	2ｲﾝﾁ 1.5kw	2
	給水ポンプ	2ｲﾝﾁ 1.5kw	1	4ｲﾝﾁ 3.7kw	2
エアー設備	空気圧縮機	2.0m³/min 15kw	1	2.5m³/min 18kw	1
	レシーバタンク			7kg/cm² 1.5m³ ｴｱｰﾄﾞﾗｲﾔ	1
操作室等設備	運転操作室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	試験室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	運転員休憩室	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
	倉庫	5.4m×2.4m	1	5.4m×2.4m	1
その他	発電機	200KVA	1	450KVA	1
	管理装置		1		1

11節 陸上地盤改良工
参考資料－１
陸上地盤改良工
P3-11-(33)

補足資料－１　陸上地盤改良工

１．陸上地盤改良工における市場単価の取扱い

陸上地盤改良工における市場単価は、土木工事市場単価における軟弱地盤処理工の市場単価を用いる。

クローラ式サンドパイル打機損料削除に伴う基準の削除

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：13節 舗装工 P3-13-10

現行（令和７年度）

(1) 鋼製型枠設置撤去　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
舗装用ｽﾁｰﾙﾌｫｰﾑ損料	軌条付き　cm	m	100	
クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間
普通作業員		人	4.5	
雑材料		%	2.0	ﾋﾟﾝﾎﾟｰﾙを含む

注）1.舗装用スチールフォーム損料＝１基・１ｍ当り供用日損料×供用日数
2.普通作業員の作業内容は、型枠据付・ピン付・小運搬・取付整備等である。

(2) 軌条設置撤去（コンクリート上）　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
軌条損料	15kg／m	m	100	
普通作業員		人	3.0	
クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間
雑材料		%	5.0	労務費の％

注）軌条損料＝供用日損料（１ｍ当り）×供用日数

改定（令和８年度）

(1) 鋼製型枠設置撤去　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
舗装用ｽﾁｰﾙﾌｫｰﾑ損料	軌条付き　cm	m	100	
クレーン付トラック	4t積級 2t吊	日	0.5	標準運転時間
普通作業員		人	4.5	
雑材料		%	2.0	ﾋﾟﾝﾎﾟｰﾙを含む

注）1.舗装用スチールフォーム損料＝１基・１ｍ当り供用日損料×供用日数
2.普通作業員の作業内容は、型枠据付・ピン付・小運搬・取付整備等である。

(2) 軌条設置撤去（コンクリート上）　100m当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
軌条損料	15kg／m	m	100	
普通作業員		人	3.0	
クレーン付トラック	4t積級 2t吊	日	0.5	標準運転時間
雑材料		%	5.0	労務費の％

注）軌条損料＝供用日損料（１ｍ当り）×供用日数

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：13節 舗装工 P3-13-13

現行（令和７年度）

コンクリートスプレッダ種類	ラフテレーンクレーン規格	摘要
ブレード式	（油）25ｔ吊	
ボックス式	（油）45ｔ吊	

注）現場条件により大型の規格を使用できるものとする。

改定（令和８年度）

コンクリートスプレッダ種類	ラフテレーンクレーン規格	摘要
ブレード式	（油）25ｔ吊	
ボックス式	（油）50ｔ吊	

注）現場条件により大型の規格を使用できるものとする。

コメント

規格の見直し

掲載頁：13節 舗装工 P3-13-14

現行（令和７年度）

(3) 簡易機械舗設　１日（150m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量 舗装厚 30cm以下	数量 舗装厚 30cmを超える	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m³			割増しを含む
鉄網		m²			〃
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃
ｺﾝｸﾘｰﾄ簡易仕上機	3.5～5.0m	日	1		就業 8H
世話役		人	1		
特殊作業員		〃	5	9	
普通作業員		〃	13	23	
雑材料		%	18	13	機械・労務費の％

注）1.ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤＝1m²当り散布量（1.02ℓ／m²）×１日当り舗設面積（150m²／日）
なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。
2.雑材料は、初期・後期養生材および舗装用ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀ、ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤散布の費用を含む。

改定（令和８年度）

(3) 簡易機械舗設　１日（150m²）当り

名称	形状寸法	単位	数量 舗装厚 30cm以下	数量 舗装厚 30cmを超える	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ		m³			割増しを含む
鉄網		m²			〃
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃
ｺﾝｸﾘｰﾄ簡易仕上機	3.5～9.0m	日	1		就業 8H
世話役		人	1		
特殊作業員		〃	5	9	
普通作業員		〃	13	23	
雑材料		%	18	13	機械・労務費の％

注）1.ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤＝1m²当り散布量（1.02ℓ／m²）×１日当り舗設面積（150m²／日）
なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。
2.雑材料は、初期・後期養生材および舗装用ﾊﾞｲﾌﾞﾚｰﾀ、ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤散布の費用を含む。

コメント

規格の見直し

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント

13節 舗装工 P3-13-17

現行（令和７年度）

４）代価表

（1）膨張目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地板	幅厚	m²					小数１位四捨五入
目地充填材		kg					〃
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		〃					〃
スリップバー	径長	本					
キャップ		個					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		〃	0.6		－		就業8H
普通作業員		人	5.5	7.6	9.5	11.6	
雑材料		%	12	8	4	3	労務費の%

注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

改定（令和８年度）

４）代価表

（1）膨張目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地板	幅厚	m²					小数１位四捨五入
目地充填材		kg					〃
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		〃					〃
スリップバー	径長	本					
キャップ		個					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積級 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		〃	0.6		－		就業8H
普通作業員		人	5.5	7.6	9.5	11.6	
雑材料		%	12	8	4	3	労務費の%

注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

13節 舗装工 P3-13-18

現行（令和７年度）

（2）挿入工法収縮目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地板	幅厚	m²					小数１位四捨五入
目地充填材		kg					〃
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		〃					〃
スリップバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	7.2	9.3	10.2	12.3	
雑材料		%	5	4	2	2	労務費の%

注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

（3）カッタ工法収縮目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地充填材		kg					小数１位四捨五入
バックアップ材	径	m					
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五入
スリップバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	10	6	3	2	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分のよび取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

改定（令和８年度）

（2）挿入工法収縮目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地板	幅厚	m²					小数１位四捨五入
目地充填材		kg					〃
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		〃					〃
スリップバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積級 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	7.2	9.3	10.2	12.3	
雑材料		%	5	4	2	2	労務費の%

注）雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

（3）カッタ工法収縮目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チｪｱｰ材両側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材片側	ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チｪｱｰ材両側	摘　要
目地充填材		kg					小数１位四捨五入
バックアップ材	径	m					
ﾁｪｱ及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五入
スリップバー	径長	本					
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	4t積級 2t吊	日	0.3				標準運転時間
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	10	6	3	2	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント

13節 舗装工 P3-13-18

現行（令和７年度）

(4) 縦施工目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チェアー材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チェアー材両側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チェアー材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チェアー材両側	摘　要
目地充填材		kg					小数１位四捨五入
バックアップ材	径	m					
チェア及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五入
タイバー	径長	本					
クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.3				標準運転時間
コンクリートカッタ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	11	7	4	3	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

改定（令和８年度）

(4) 縦施工目地　100m当り

名　称	形状寸法	単位	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チェアー材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用有り チェアー材両側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チェアー材片側	数量 ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗの使用無し チェアー材両側	摘　要
目地充填材		kg					小数１位四捨五入
バックアップ材	径	m					
チェア及びｸﾛｽﾊﾞｰ		kg					小数１位四捨五入
タイバー	径長	本					
クレーン付トラック	4t積級 2t吊	日	0.3				標準運転時間
コンクリートカッタ	ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径	〃					就業8H
ｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ損耗		枚					
ｼﾞｮｲﾝﾄｼｰﾗ		日	0.4		－		就業8H
普通作業員		人	3.4	5.5	6.4	8.5	
雑材料		%	11	7	4	3	労務費の%

注）1.バックアップ材が必要な場合は、100m分の材料費および取付用の普通作業員0.7人／100mを追加する。
2.雑材料には目地清掃費等の費用を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

13節 舗装工 P3-13-23

現行（令和７年度）

２）代価表

(1)プライムコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ	1,020	割増しを含む
ディストリビュータ	ﾄﾗｯｸ架装式2,000～3,000L	日	0.06	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

(2)タックコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
アスファルト乳剤	PK-4	ℓ	310	割増しを含む
ディストリビュータ	ﾄﾗｯｸ架装式2,000～3,000L	日	0.03	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

改定（令和８年度）

２）代価表

(1)プライムコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ	1,020	割増しを含む
ディストリビュータ	自走式(専用車)1,500～2,000L	日	0.06	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

(2)タックコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
アスファルト乳剤	PK-4	ℓ	310	割増しを含む
ディストリビュータ	自走式(専用車)1,500～2,000L	日	0.03	就業8H
雑材料		%	2	材料費の%

注）上記散布量には、割増しを含んでいる。

コメント

規格の見直し

13節 舗装工 補足資料－１ 舗装工 P3-13-(6)

現行（令和７年度）

４．プライムコート及びタックコートのアスファルトスプレヤ歩掛

１）プライムコート代価表

プライムコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
瀝青材	PK-3	L	1020	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	1	就業8H
トラック	2t積	〃	1	標準運転時間
トラック	2t積	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（２ｔ積）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

改定（令和８年度）

４．プライムコート及びタックコートのアスファルトスプレヤ歩掛

１）プライムコート代価表

プライムコート　1,000m²当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
瀝青材	PK-3	L	1020	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	1	就業8H
トラック	2t積級	〃	1	標準運転時間
トラック	2t積級	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（２ｔ積級）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：13節 舗装工 補足資料－１ 舗装工 P3-13-(6)

現行（令和７年度）

２）タックコート代価表

タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-4	L	310	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	0.3	就業8H
トラック	2t積	〃	0.3	標準運転時間
トラック	2t積	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（2ｔ積）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

改定（令和８年度）

２）タックコート代価表

タックコート　1,000m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
瀝青材	PK-4	L	310	割増しを含む
アスファルトスプレヤ	車載式 25L/min 2.6kW	日	0.3	就業8H
トラック	2t積級	〃	0.3	標準運転時間
トラック	2t積級	〃		標準運転時間
雑材料		%	2	材料費の%

注）1.現場条件により、材料小運搬用トラック（2ｔ積級）を追加計上することができる。
2.上記散布量は、割増し2%を含む。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：14節 維持補修工 P3-14-6

現行（令和７年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量 既設構造物等を作る場合	数量 既設構造物等を作らない場合	摘要
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付ﾌﾟﾚｰﾄを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船運転	Ｄ270PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
ｸﾚｰﾝ付台船運転	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船〃	鋼Ｄ300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	Ｄ300Ａ	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

改定（令和８年度）

(3) 陽極取付　１日（　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量 既設構造物等を作る場合	数量 既設構造物等を作らない場合	摘要
ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金陽極	取付ﾌﾟﾚｰﾄを含む	個	18	14	
陽極取付	クレーン込み	〃	18	－	市場単価
潜水士船運転	Ｄ320PS型 3～5ｔ吊	日	－	1	就業8H
ｸﾚｰﾝ付台船運転	35～40ｔ吊	〃	－	0.4	運2H/就8H
引船〃	鋼Ｄ300PS型	〃	－	0.4	運2H/就8H
溶接機	Ｄ300Ａ	〃	－	1	
世話役		人	－	1	
普通作業員		〃	－	1	
消耗品		%	－	2	労務費の%
雑材料			－		

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：14節 維持補修工 参考資料－１ FRPモルタル被覆 P3-14-(2)

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm，ℓ＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 Ｂ＝0.24m，ℓ＝4m	枚	14	
潜水世話役		人	0.5	
潜水士		〃	4.7	
潜水送気員		〃	2.4	
潜水連絡員		〃	2.4	
普通作業員		〃	0.6	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	４ｔ積、2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

改定（令和８年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm，ℓ＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 Ｂ＝0.24m，ℓ＝4m	枚	14	
潜水世話役		人	0.5	
潜水士		〃	4.7	
潜水送気員		〃	2.4	
潜水連絡員		〃	2.4	
普通作業員		〃	0.6	
ｸﾚｰﾝ付ﾄﾗｯｸ	４ｔ積級、2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：14節 維持補修工 参考資料－１ FRPモルタル被覆 P3-14-(2)

現行（令和７年度）

(2) 下地処理（かき落とし）　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
かき落とし	クレーン抜き	m²	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	3.6	標準運転時間

改定（令和８年度）

(2) 下地処理（かき落とし）　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
かき落とし	クレーン抜き	m²	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積級、2.9t吊	日	3.6	標準運転時間

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：14節 維持補修工 参考資料－１ FRPモルタル被覆 P3-14-(3)

現行（令和７年度）

(3) 防食カバー取付（既設）　10本当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上（既設）	摘要
防食カバー	φ＝　，ℓ＝	本	10	
溶接機	D300A	日	3.3	
潜水世話役		人	1.0	
潜水士		〃	9.5	
潜水送気員		〃	4.8	
潜水連絡員		〃	4.8	
普通作業員		〃	3.5	
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	4.8	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

(4) モルタル注入（既設）　10m³当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上（既設）	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄﾓﾙﾀﾙ		m³	13	割増しを含む
グラウトポンプ	37～100ℓ/min	日	4.0	就業8H
発動発電機	45kVA	〃	4.0	
潜水世話役		人	0.7	
潜水士		〃	6.7	
潜水送気員		〃	3.4	
潜水連絡員		〃	3.4	
特殊作業員		〃	1.7	
普通作業員		〃	1.9	
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	3.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。

改定（令和８年度）

(3) 防食カバー取付（既設）　10本当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上（既設）	摘要
防食カバー	φ＝　，ℓ＝	本	10	
溶接機	D300A	日	3.3	
潜水世話役		人	1.0	
潜水士		〃	9.5	
潜水送気員		〃	4.8	
潜水連絡員		〃	4.8	
普通作業員		〃	3.5	
クレーン付トラック	4ｔ積級、2.9ｔ吊	日	4.8	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

(4) モルタル注入（既設）　10m³当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上（既設）	摘要
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄﾓﾙﾀﾙ		m³	13	割増しを含む
グラウトポンプ	37～100ℓ/min	日	4.0	就業8H
発動発電機	45kVA	〃	4.0	
潜水世話役		人	0.7	
潜水士		〃	6.7	
潜水送気員		〃	3.4	
潜水連絡員		〃	3.4	
特殊作業員		〃	1.7	
普通作業員		〃	1.9	
クレーン付トラック	4ｔ積級、2.9ｔ吊	日	3.4	標準運転時間
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む

注）レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：14節 維持補修工 参考資料－２ ペトロラタム被覆 P3-14-(6)

現行（令和７年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去
①鋼管杭　足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ	φ16mm，L＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m，L＝4m	枚	14	
足場設置撤去	クレーン抜き	m²	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

改定（令和８年度）

２）代価表
(1) 足場設置撤去
①鋼管杭　足場設置撤去　100m²当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ	φ16mm，L＝60mm	本	9	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m，L＝4m	枚	14	
足場設置撤去	クレーン抜き	m²	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積級、2.9ｔ吊	日	2.4	標準運転時間

注）1.本歩掛は、桟橋式の鋼管杭の防食工に適用する。
2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：14節 維持補修工 参考資料－２ ペトロラタム被覆 P3-14-(6)

現行（令和７年度）

②鋼矢板・鋼管矢板　足場設置撤去　　100ｍ当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm，L＝60mm	本	111	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m,L＝4m	枚	56	
丸パイプ賃料	φ48.6mm，肉厚2.4mm	m	944	
クランプ賃料	直交	個	611	
足場設置撤去	クレーン抜き	m	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	3.9	標準運転時間

注）1.本歩掛は、護岸、係船岸の鋼矢板・鋼管矢板の防食工に適用する。
　　2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

(2) 下地処理（かき落とし）　　100ｍ²当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
かき落とし	クレーン抜き	㎡	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	3.6	3.6	標準運転時間

(3) 被覆防食　　100ｍ²当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
防食材料		ｍ²	100	100	
被覆防食	クレーン抜き	ｍ²	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	10.6	6.7	標準運転時間

(4) 端部処理　　100ｍ当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
端部処理	クレーン抜き	m	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積、2.9ｔ吊	日	5.5	2.9	標準運転時間

改定（令和８年度）

②鋼矢板・鋼管矢板　足場設置撤去　　100ｍ当り

名　称	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートアンカー	φ16mm，L＝60mm	本	111	
鋼製足場	鋼製軽量足場板 B＝0.24m,L＝4m	枚	56	
丸パイプ賃料	φ48.6mm，肉厚2.4mm	m	944	
クランプ賃料	直交	個	611	
足場設置撤去	クレーン抜き	m	100	市場単価
クレーン付トラック	4ｔ積級、2.9ｔ吊	日	3.9	標準運転時間

注）1.本歩掛は、護岸、係船岸の鋼矢板・鋼管矢板の防食工に適用する。
　　2.現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。

(2) 下地処理（かき落とし）　　100ｍ²当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
かき落とし	クレーン抜き	㎡	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積級、2.9t吊	日	3.6	3.6	標準運転時間

(3) 被覆防食　　100ｍ²当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
防食材料		ｍ²	100	100	
被覆防食	クレーン抜き	ｍ²	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積級、2.9t吊	日	10.6	6.7	標準運転時間

(4) 端部処理　　100ｍ当り

名　称	形状寸法	単位	数量		摘要
			鋼管杭	鋼矢板・鋼管矢板	
端部処理	クレーン抜き	m	100	100	市場単価
クレーン付トラック	4t積級、2.9t吊	日	5.5	2.9	標準運転時間

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

掲載頁：17節 構造物撤去工 P3-17-9

現行（令和７年度）

３－２－５　作業船・機械の組合せ

1）陸上作業

ブロック質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	トラックまたはトレーラ
4.5t以下	(油)　25　t吊	－	11t積
4.5t超え　7.5t 〃	(〃)　35　〃		11 〃
7.5t 〃　12.5t 〃	(〃)　50　〃		25 〃
12.5t 〃　22.0t 〃	(〃)　50　〃		25 〃
22.0t 〃　31.0t 〃	－	(油)　100　t吊	32 〃
31.0t 〃　37.5t 〃		(〃)　150　〃	40 〃
37.5t 〃　50.0t 〃			50 〃
50.0t 〃　70.0t 〃		(〃)　200　〃	60または70〃
70.0t 〃　100.0t 〃			現場条件による

改定（令和８年度）

３－２－５　作業船・機械の組合せ

1）陸上作業

ブロック質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	トラックまたはトレーラ
4.5t以下	(油)　25　t吊	－	11t積級
4.5t超え　7.5t 〃	(〃)　35　〃		11 〃
7.5t 〃　12.5t 〃	(〃)　50　〃		25 〃
12.5t 〃　22.0t 〃	(〃)　50　〃		25 〃
22.0t 〃　31.0t 〃	－	(油)　100　t吊	32 〃
31.0t 〃　37.5t 〃		(〃)　150　〃	40 〃
37.5t 〃　50.0t 〃			50 〃
50.0t 〃　70.0t 〃		(〃)　200　〃	60または70〃
70.0t 〃　100.0t 〃			現場条件による

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：17節 構造物撤去工 P3-17-11

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去（１スイング内）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去（１スイング内）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	日	1	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	－	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃			就業8H
とび工		人			
普通作業員		〃			
雑材料					

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：17節 構造物撤去工 P3-17-14

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去、据付・仮置（海上一連方式）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	日	1	運：作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去、据付・仮置（海上一連方式）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回 鋼D　t吊	日	1	運：作業能力／就8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	〃
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：17節 構造物撤去工 P3-17-16

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去、据付・仮置（陸上連携方式）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	日	1	撤去用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	撤去以外の作業用 標準運転時間
トラック または トレーラ	t積	〃		標準運転時間
潜水士船　運転	D270PS型 3~5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）ブロック撤去、据付・仮置（陸上連携方式）　１日（　　個）当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	日	1	撤去用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	撤去以外の作業用 標準運転時間
トラック または トレーラ	t積級	〃		標準運転時間
潜水士船　運転	D320PS型 3~5t吊	〃		就業8H
とび工		人		
普通作業員		〃		
雑材料				

コメント

機械器具等損料改定に伴う変更

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
18節 仮設工 P3-18-16	２）ウォータージェットの規格 （1）ウォータージェットの規格 ウォータージェットの規格は、下表を標準とする。 ウォータージェットの規格 <table><tr><td colspan="3">ウォータージェット／エンジン式</td><td rowspan="2">備　　考</td></tr><tr><td>エンジン出力 kW</td><td>吐 出 圧 力 MPa</td><td>吐出流量 （ℓ/min）</td></tr><tr><td>243</td><td>14.7</td><td>895</td><td></td></tr></table>	２）ウォータージェットの規格 （1）ウォータージェットの規格 ウォータージェットの規格は、下表を標準とする。 ウォータージェットの規格 <table><tr><td colspan="3">ウォータージェット／エンジン式</td><td rowspan="2">備　　考</td></tr><tr><td>エンジン出力 kW</td><td>吐 出 圧 力 MPa</td><td>吐出流量 （ℓ/min）</td></tr><tr><td>250</td><td>14.7</td><td>900</td><td></td></tr></table>	機械器具等損料改定に伴う変更
18節 仮設工 P3-18-17	**３－１－５　バイブロハンマおよびウォータージェットの規格** （4）水中ポンプおよび水槽 水源が遠い場合、水源から水中ポンプで水槽に給水し、そこからウォータージェットに給水する。 水中ポンプ、水槽の規格・数量 <table><tr><td>ジェット 使用台数</td><td>機　種</td><td>規格</td><td>出 力</td><td>数量</td><td>発動発電機 規　　格</td><td>機　種</td><td>規格</td><td>数量</td><td>備　考</td></tr><tr><td>1　台</td><td rowspan="4">工　事　用 水中ポンプ</td><td>φ150</td><td>10.6kW</td><td>1台</td><td>35 kVA</td><td rowspan="4">水　　槽 （一般 工事用）</td><td>20 ㎥</td><td>1基</td><td rowspan="4">水源が遠い場合に使用する。</td></tr><tr><td>2　台</td><td>φ200</td><td>15.5kW</td><td>1台</td><td>45 kVA</td><td>30 ㎥</td><td>1基</td></tr><tr><td>3　台</td><td>φ150</td><td>10.6kW</td><td>2台</td><td>60 kVA</td><td>20 ㎥</td><td>2基</td></tr><tr><td>4　台</td><td>φ200</td><td>15.5kW</td><td>2台</td><td>75 kVA</td><td>30 ㎥</td><td>2基</td></tr></table>注）1.現場条件により、水中ポンプの出力(kW)を揚程から選定することができる。 2.仮設作業構台や桟橋等で、ウォータージェット設置位置の直下に水深１ｍ以上の水源がある場合は、計上しない。なお、この場合には、ウォータージェット付属の水中ポンプで吸水する。 3.水源の水量が不足し常時給水できない場合は、水槽容量を増すことができる。	**３－１－５　バイブロハンマおよびウォータージェットの規格** （4）水中ポンプおよび水槽 水源が遠い場合、水源から水中ポンプで水槽に給水し、そこからウォータージェットに給水する。 水中ポンプ、水槽の規格・数量 <table><tr><td>ジェット 使用台数</td><td>機　種</td><td>規格</td><td>出 力</td><td>数量</td><td>発動発電機 規　　格</td><td>機　種</td><td>規格</td><td>数量</td><td>備　考</td></tr><tr><td>1　台</td><td rowspan="4">工　事　用 水中ポンプ</td><td>φ150</td><td>10.6kW</td><td>1台</td><td>35 kVA</td><td rowspan="4">水　　槽 （一般 工事用）</td><td>20 ㎥</td><td>1基</td><td rowspan="4">水源が遠い場合に使用する。</td></tr><tr><td>2　台</td><td>φ200</td><td>15.5kW</td><td>1台</td><td>45 kVA</td><td>32 ㎥</td><td>1基</td></tr><tr><td>3　台</td><td>φ150</td><td>10.6kW</td><td>2台</td><td>60 kVA</td><td>20 ㎥</td><td>2基</td></tr><tr><td>4　台</td><td>φ200</td><td>15.5kW</td><td>2台</td><td>75 kVA</td><td>32 ㎥</td><td>2基</td></tr></table>注）1.現場条件により、水中ポンプの出力(kW)を揚程から選定することができる。 2.仮設作業構台や桟橋等で、ウォータージェット設置位置の直下に水深１ｍ以上の水源がある場合は、計上しない。なお、この場合には、ウォータージェット付属の水中ポンプで吸水する。 3.水源の水量が不足し常時給水できない場合は、水槽容量を増すことができる。	規格の見直し
18節 仮設工 P3-18-18	（2）標準的な船団構成 ①クレーン付台船、起重機船の船団構成 <table><tr><td rowspan="2">ハンマ 形　式</td><td colspan="3">標準的な船団構成</td><td colspan="3">現場条件による追加船団</td></tr><tr><td>クレーン付台船 または 起重機船</td><td>台　　船 （運搬用）</td><td>揚錨船</td><td>クレーン付台船 （補助用）</td><td>引　　船</td><td>潜水士船</td></tr><tr><td>バイブロ ハ ン マ</td><td>t 吊 鋼Ｄ　　t 吊</td><td>鋼　　t積</td><td>鋼Ｄ　　5t吊</td><td>t吊</td><td>鋼Ｄ　　PS型</td><td>Ｄ270PS型 3～5t吊</td></tr></table>	（2）標準的な船団構成 ①クレーン付台船、起重機船の船団構成 <table><tr><td rowspan="2">ハンマ 形　式</td><td colspan="3">標準的な船団構成</td><td colspan="3">現場条件による追加船団</td></tr><tr><td>クレーン付台船 または 起重機船</td><td>台　　船 （運搬用）</td><td>揚錨船</td><td>クレーン付台船 （補助用）</td><td>引　　船</td><td>潜水士船</td></tr><tr><td>バイブロ ハ ン マ</td><td>t 吊 鋼Ｄ　　t 吊</td><td>鋼　　t積</td><td>鋼Ｄ　　5t吊</td><td>t吊</td><td>鋼Ｄ　　PS型</td><td>Ｄ320PS型 3～5t吊</td></tr></table>	潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント
18節 仮設工 P3-18-25			潜水士船の大型化による基準改定

５）代価表
（1）鋼管杭・鋼管矢板打設（ジェット併用）　１日（　　本）当り

名　　称	形状寸法	単位	数　量		摘　　要
			陸上打設	海上打設	
バイブロハンマ	kW	日	1	1	
鋼管チャック	kWﾊﾞｲﾌﾞﾛ用	〃	1	1	
ウォータージェット	243kW	〃			
クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	－	
クレーン付台船　運転 または 起重機船　〃	t吊 非航旋回鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
台　　船　〃	鋼　　t積	〃	－	1	就業8H　　（運搬用）
引　　船　〃	鋼D　　PS型	〃	－		運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃	－		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　　5t吊	〃	－	1	就業8H
クレーン付台船　〃	t吊	〃	－		運4H／就8H（補助用）
クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	－	
世話役		人			
とび工		〃			
普通作業員		〃			
特殊作業員		〃			
溶接工		〃			（継手用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	日	1	1	（ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃	1	1	（ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ付属 水中ポンプ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃		－	（水槽給水水中ポンプ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃			（継手用）
溶接機	半自動 500A	〃			（継手用）
水中ポンプ	φ	〃		－	（水槽給水用）
水槽	m^3	〃		－	
配管系部材	埋設する部材	式			
配管系部材	転用する部材	%	20		ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ損料の％
雑材料					

５）代価表
（1）鋼管杭・鋼管矢板打設（ジェット併用）　１日（　　本）当り

名　　称	形状寸法	単位	数　量		摘　　要
			陸上打設	海上打設	
バイブロハンマ	kW	日	1	1	
鋼管チャック	kWﾊﾞｲﾌﾞﾛ用	〃	1	1	
ウォータージェット	250kW	〃			
クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	－	
クレーン付台船　運転 または 起重機船　〃	t吊 非航旋回鋼D　t吊	〃	－	1	運6H／就8H
台　　船　〃	鋼　　t積	〃	－	1	就業8H　　（運搬用）
引　　船　〃	鋼D　　PS型	〃	－		運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃	－		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　　5t吊	〃	－	1	就業8H
クレーン付台船　〃	t吊	〃	－		運4H／就8H（補助用）
クローラクレーン	（油）　t吊	〃	1	－	
世話役		人			
とび工		〃			
普通作業員		〃			
特殊作業員		〃			
溶接工		〃			（継手用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	日	1	1	（ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃	1	1	（ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ付属 水中ポンプ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃		－	（水槽給水水中ポンプ用）
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型　kVA	〃			（継手用）
溶接機	半自動 500A	〃			（継手用）
水中ポンプ	φ	〃		－	（水槽給水用）
水槽	m^3	〃		－	
配管系部材	埋設する部材	式			
配管系部材	転用する部材	%	20		ｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ損料の％
雑材料					

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：18節 仮設工 P3-18-26

現行（令和７年度）

(3) クレーン付台船または起重機船拘束　１式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 供用 または 起重機船 〃	t吊 非航旋回鋼D t吊	日		
揚錨船 〃	鋼D5t吊	〃		
台船 〃	鋼 t積	〃		（運搬用）
引船 〃	鋼D PS型	〃		
潜水士船 〃	D270PS型 3～5t吊	〃		

改定（令和８年度）

(3) クレーン付台船または起重機船拘束　１式当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
クレーン付台船 供用 または 起重機船 〃	t吊 非航旋回鋼D t吊	日		
揚錨船 〃	鋼D5t吊	〃		
台船 〃	鋼 t積	〃		（運搬用）
引船 〃	鋼D PS型	〃		
潜水士船 〃	D320PS型 3～5t吊	〃		

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

18節 仮設工 P3-18-30

現行（令和７年度）

３－２－５－３　作業船舶・機械の選定

１）作業船舶・機械の組合せ

作業船舶・機械の組合せは下表を標準とする。なお、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮することができる。

船種・機種	バイブロハンマ規格					数量	摘要
	90kW	120kW	150kW	200kW	240kW		
発動発電機	300kVA	400kVA	500kVA	600kVA	800kVA	1	
クレーン付台船 または 起重機船・杭打船	クレーン付台船 または起重機船		起重機船または杭打船			1	
	80ｔ吊	150ｔ吊	150ｔ吊	200ｔ吊	200ｔ吊		
台船	鋼 t積		鋼 t積			1	注）1.
引船	鋼D PS型		鋼D PS型			1	
揚錨船	鋼D 5ｔ吊					1	
潜水士船	D270PS型 3～5ｔ吊						注）2.

改定（令和８年度）

３－２－５－３　作業船舶・機械の選定

１）作業船舶・機械の組合せ

作業船舶・機械の組合せは下表を標準とする。なお、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮することができる。

船種・機種	バイブロハンマ規格					数量	摘要
	90kW	120kW	150kW	200kW	240kW		
発動発電機	300kVA	400kVA	500kVA	600kVA	800kVA	1	
クレーン付台船 または 起重機船・杭打船	クレーン付台船 または起重機船		起重機船または杭打船			1	
	80ｔ吊	150ｔ吊	150ｔ吊	200ｔ吊	200ｔ吊		
台船	鋼 t積		鋼 t積			1	注）1.
引船	鋼D PS型		鋼D PS型			1	
揚錨船	鋼D 5ｔ吊					1	
潜水士船	D320PS型 3～5ｔ吊						注）2.

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

18節 仮設工 P3-18-32

現行（令和７年度）

４）代価表

(1) 鋼管杭・鋼管矢板打設（バイブロハンマ・海上施工）　１日（　本）当り

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			鋼管杭		鋼管矢板		
			ℓ≦25m	ℓ＞25m	ℓ≦25m	ℓ＞25m	
バイブロハンマ	kW	日	1		1		
鋼管チャック	kWﾊﾞｲﾌﾞﾛ用	〃	1		1		
クレーン付台船 または 起重機船･杭打船 運転	t吊 鋼D t吊	〃	1		1		運6H／就8H
台船 〃	鋼 積	〃	1		1		就業8H
引船 〃	鋼D PS型	〃	1		1		運2H／就8H
潜水士船 〃	D270PS型 3～5t吊	〃					就業8H
揚錨船 〃	鋼D 5t吊	〃	1		1		〃
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型 kVA	〃	1		1		
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型 kVA	〃					（継手用）
溶接機	半自動 500A	〃					
世話役		人	1	1	1	1	
とび工		〃	2	4	3	5	
普通作業員		〃	3	3	3	3	
溶接工		〃					
特殊作業員		〃	1	1	1	1	
雑材料							

改定（令和８年度）

４）代価表

(1) 鋼管杭・鋼管矢板打設（バイブロハンマ・海上施工）　１日（　本）当り

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			鋼管杭		鋼管矢板		
			ℓ≦25m	ℓ＞25m	ℓ≦25m	ℓ＞25m	
バイブロハンマ	kW	日	1		1		
鋼管チャック	kWﾊﾞｲﾌﾞﾛ用	〃	1		1		
クレーン付台船 または 起重機船･杭打船 運転	t吊 鋼D t吊	〃	1		1		運6H／就8H
台船 〃	鋼 積	〃	1		1		就業8H
引船 〃	鋼D PS型	〃	1		1		運2H／就8H
潜水士船 〃	D320PS型 3～5t吊	〃					就業8H
揚錨船 〃	鋼D 5t吊	〃	1		1		〃
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型 kVA	〃	1		1		
発動発電機	排出ｶﾞｽ対策型 kVA	〃					（継手用）
溶接機	半自動 500A	〃					
世話役		人	1	1	1	1	
とび工		〃	2	4	3	5	
普通作業員		〃	3	3	3	3	
溶接工		〃					
特殊作業員		〃	1	1	1	1	
雑材料							

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁：18節 仮設工 参考資料－１ 鋼矢板・H形鋼杭打設・引抜(海上施工) P3-18-(1)

現行（令和７年度）

２－３　作業船舶の選定

１）作業船舶の機種・規格は次表を標準とするが、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮することができる。

船舶・機種	バイブロハンマ規格 60kwまたは90kw	数　量	摘　要
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D　t吊	1	
台船	鋼　t積	1	
引船	鋼D　PS型	1	
潜水士船	D270PS型　3～5t吊		
揚錨船	鋼D　5t吊	1	

改定（令和８年度）

２－３　作業船舶の選定

１）作業船舶の機種・規格は次表を標準とするが、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮することができる。

船舶・機種	バイブロハンマ規格 60kwまたは90kw	数　量	摘　要
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D　t吊	1	
台船	鋼　t積	1	
引船	鋼D　PS型	1	
潜水士船	D320PS型　3～5t吊		
揚錨船	鋼D　5t吊	1	

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲　載　頁：18節 仮設工 参考資料－１ 鋼矢板・H形鋼杭打設・引抜(海上施工) P3-18-(4)

現行（令和７年度）

２）代価表

(1) 鋼矢板（H形鋼杭）打設・引抜（バイブロハンマ単独・海上施工）　１日（　枚・本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
バイブロハンマ	kW	日	1	
クレーン付台船 または 起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	1	運6H／就8H
台船　運転	鋼　t積	〃	1	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　5t吊	〃	1	〃
世話役		人	1	
とび工		〃	2	
普通作業員		〃	1	
雑材料				別表のとおり

注）1.クレーン付台船または起重機船の規格は、現場条件により決定する。
2.溶接作業が必要な場合は、別途計上する。
3.海上施工の場合は、必要に応じ潜水士船を１日計上することができる。

(2) 鋼矢板（H形鋼杭）打設（ウォータージェット併用・海上施工）　１日（　枚・本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
バイブロハンマ	kW	日	1	
ウォータージェット	14.7Mpa 325L/min	〃		
クレーン付台船 または 起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	1	運6H／就8H
台船　運転	鋼　t積	〃	1	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　5t吊	〃	1	〃
世話役		人	1	
とび工		〃	2	
溶接工		〃	1	
普通作業員		〃	1	
雑材料				別表のとおり

注）1.クレーン付台船または起重機船の規格は、現場条件により決定する。
2.海上施工の場合は、必要に応じ潜水士船を１日計上することができる。

改定（令和８年度）

２）代価表

(1) 鋼矢板（H形鋼杭）打設・引抜（バイブロハンマ単独・海上施工）　１日（　枚・本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
バイブロハンマ	kW	日	1	
クレーン付台船 または 起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	1	運6H／就8H
台船　運転	鋼　t積	〃	1	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　5t吊	〃	1	〃
世話役		人	1	
とび工		〃	2	
普通作業員		〃	1	
雑材料				別表のとおり

注）1.クレーン付台船または起重機船の規格は、現場条件により決定する。
2.溶接作業が必要な場合は、別途計上する。
3.海上施工の場合は、必要に応じ潜水士船を１日計上することができる。

(2) 鋼矢板（H形鋼杭）打設（ウォータージェット併用・海上施工）　１日（　枚・本）当り

名　称	形状寸法	単位	数　量	摘　要
バイブロハンマ	kW	日	1	
ウォータージェット	14.7Mpa 325L/min	〃		
クレーン付台船 または 起重機船　運転	t吊 非航旋回　鋼D　t吊	〃	1	運6H／就8H
台船　運転	鋼　t積	〃	1	就業8H
引船　〃	鋼D　PS型	〃	1	運2H／就8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃		就業8H
揚錨船　〃	鋼D　5t吊	〃	1	〃
世話役		人	1	
とび工		〃	2	
溶接工		〃	1	
普通作業員		〃	1	
雑材料				別表のとおり

注）1.クレーン付台船または起重機船の規格は、現場条件により決定する。
2.海上施工の場合は、必要に応じ潜水士船を１日計上することができる。

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲　載　頁	現行（令和７年度）	改定（令和８年度）	コメント

18節 仮設工 参考資料－２ 鋼管杭・鋼管矢板の先行掘削 P3-18-(9)

現行（令和７年度）

３）代価表
（1）先行掘削 海上 １日（ 本）当り

名　称	形状寸法	単位	数量 全回転型 ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機	数量 二軸同軸式 ｱｰｽｵｰｶﾞ機	摘　要
置換材		m³			割増を含む
損耗量	オーガヘッドビット	個	－		
損耗量	ケーシングビット	〃			
掘削機		日	1		運6H／就8H
発動発電機	KVA	〃	－		
油圧式ｽﾊﾟｯﾄ台船 運転（先行掘削用）	800～1000t積 昇降能力 220～240ｔ	〃	1	－	就業8H
杭打船 〃	H－125	〃	－	1	運6H／就8H
台船 〃	鋼 500ｔ積	〃	1		就業8H
引船 〃	鋼Ｄ 500PS型	〃	1		運2H／就8H
揚錨船 〃	鋼Ｄ 5ｔ吊	〃	1		就業8H
クローラクレーン	（油） 80ｔ吊	〃	1	－	運6H／就8H
バックホウ	排出ｶﾞｽ対策型（第１次基準値） ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m³（平積0.6m³）	〃	－	1	運6H／就8H
世話役		人	1	1	
とび工		〃	2	3	
普通作業員		〃	2	2	
雑材料					

改定（令和８年度）

３）代価表
（1）先行掘削 海上 １日（ 本）当り

名　称	形状寸法	単位	数量 全回転型 ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機	数量 二軸同軸式 ｱｰｽｵｰｶﾞ機	摘　要
置換材		m³			割増を含む
損耗量	オーガヘッドビット	個	－		
損耗量	ケーシングビット	〃			
掘削機		日	1		運6H／就8H
発動発電機	KVA	〃	－		
油圧式ｽﾊﾟｯﾄ台船 運転（先行掘削用）	800～1000t積 昇降能力 220～240ｔ	〃	1	－	就業8H
杭打船 〃	H－125	〃	－	1	運6H／就8H
台船 〃	鋼 500ｔ積	〃	1		就業8H
引船 〃	鋼Ｄ 500PS型	〃	1		運2H／就8H
揚錨船 〃	鋼Ｄ 5ｔ吊	〃	1		就業8H
クローラクレーン	（油） 80ｔ吊	〃	1	－	運6H／就8H
バックホウ	排出ｶﾞｽ対策型（第３次基準値） ｸﾛｰﾗ型 0.8m³	〃	－	1	運6H／就8H
世話役		人	1	1	
とび工		〃	2	3	
普通作業員		〃	2	2	
雑材料					

コメント

排出ガス対策型の基準値改定に伴う修正

機械器具等損料改定に伴う変更

19節 雑工 補足資料－１ 雑工 P3-19-(8)

現行（令和７年度）

２）代価表
（１）現場鋼材溶接工

水中被覆アーク溶接　１日当り（　m）

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
消耗品費		%	2	(潜水士船+普通作業員)の%
溶接機	D300A 又は E300A	日	1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油） ｔ吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船 運転	非航旋回 鋼 D ｔ吊	〃		運 4H／就 8H
引船 〃	鋼 D PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船 〃	D270PS型 3～5t吊	〃	1	
普通作業員		人	0.5	
雑材料				

改定（令和８年度）

２）代価表
（１）現場鋼材溶接工

水中被覆アーク溶接　１日当り（　m）

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
消耗品費		%	2	(潜水士船+普通作業員)の%
溶接機	D300A 又は E300A	日	1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油） ｔ吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船 運転	非航旋回 鋼 D ｔ吊	〃		運 4H／就 8H
引船 〃	鋼 D PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船 〃	D320PS型 3～5t吊	〃	1	
普通作業員		人	0.5	
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

掲載頁：19節 雑工 補足資料－１ 雑工 P3-19-(8)

現行（令和７年度）

（２）スタッド溶接

下地処理　　1,000個所当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
空気圧縮機	5.0m³／min	日	2.1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油）　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃	5.4	
普通作業員		人	2.2	
雑材料		%	1.0	ｴｱｰｻﾝﾀﾞｰを含む

改定（令和８年度）

（２）スタッド溶接

下地処理　　1,000個所当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
空気圧縮機	5.0m³／min	日	2.1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油）　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃	5.4	
普通作業員		人	2.2	
雑材料		%	1.0	ｴｱｰｻﾝﾀﾞｰを含む

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

掲載頁：19節 雑工 補足資料－１ 雑工 P3-19-(9)

現行（令和７年度）

水中スタッド溶接　1,000本当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
スタッドボルト	φ	本	1,000	ﾌｪﾙｰﾙ(水中用)及び取付ﾅｯﾄ含む
スタッド溶接装置		日	4.0	施工管理計を含む
発動発電機	200KVA	〃	4.0	就業 8H
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油）　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃	10.0	
特殊作業員		人	2.0	
普通作業員		〃	2.0	
雑材料				

（３）現場鋼材切断工
水中酸素アーク切断　　1日当り（　　m）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
器材費		%	5	(潜水士船+普通作業員)の%
溶接機	D300A 又は E300A	日	1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D270PS型 3～5t吊	〃	1	
普通作業員		人	0.5	
雑材料				

改定（令和８年度）

水中スタッド溶接　1,000本当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
スタッドボルト	φ	本	1,000	ﾌｪﾙｰﾙ(水中用)及び取付ﾅｯﾄ含む
スタッド溶接装置		日	4.0	施工管理計を含む
発動発電機	200KVA	〃	4.0	就業 8H
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	（油）　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃	10.0	
特殊作業員		人	2.0	
普通作業員		〃	2.0	
雑材料				

（３）現場鋼材切断工
水中酸素アーク切断　　1日当り（　　m）

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
器材費		%	5	(潜水士船+普通作業員)の%
溶接機	D300A 又は E300A	日	1	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ	(油)　　t吊	〃		標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船または起重機船　運転	非航旋回 鋼 D　t吊	〃		運 4H／就 8H
引船　〃	鋼 D　　PS型	〃		運 2H／就 8H
潜水士船　〃	D320PS型 3～5t吊	〃	1	
普通作業員		人	0.5	
雑材料				

コメント

潜水士船の大型化による基準改定

令和８年度　漁港漁場関係工事積算基準　新旧対比表

<table>
<tr><th>掲　載　頁</th><th>現行（令和７年度）</th><th>改定（令和８年度）</th><th>コメント</th></tr>
<tr>
<td>19節 雑工
補足資料－１
雑工
P3-19-(9)</td>
<td>（４）清掃工
かき落とし　　100m²当り
<table>
<tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘　要</th></tr>
<tr><td>引　船 運転</td><td>鋼 D　PS型</td><td>日</td><td></td><td>運 2H／就 8H</td></tr>
<tr><td>台　船 〃</td><td>鋼　t積</td><td>〃</td><td></td><td>就業 8H</td></tr>
<tr><td>潜 水 士 船 〃</td><td>D270PS型 3～5t吊</td><td>〃</td><td>7.2</td><td></td></tr>
<tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>（４）清掃工
かき落とし　　100m²当り
<table>
<tr><th>名　称</th><th>形 状 寸 法</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘　要</th></tr>
<tr><td>引　船 運転</td><td>鋼 D　PS型</td><td>日</td><td></td><td>運 2H／就 8H</td></tr>
<tr><td>台　船 〃</td><td>鋼　t積</td><td>〃</td><td></td><td>就業 8H</td></tr>
<tr><td>潜 水 士 船 〃</td><td>D320PS型 3～5t吊</td><td>〃</td><td>7.2</td><td></td></tr>
<tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>0.5</td><td></td></tr>
<tr><td>雑　材　料</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td>
<td>潜水士船の大型化による基準改定</td>
</tr>
</table>